

唐詩選國字解

自一至四
五言律五言排律

士肥藏書

考

軒	第 一 行	第 二 段	第 三 架	文
壹部 四冊 庫				



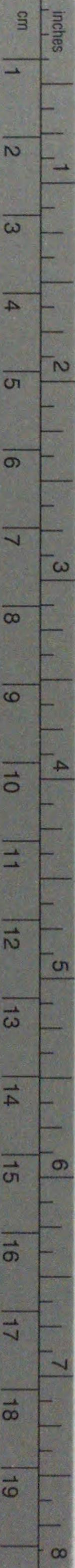
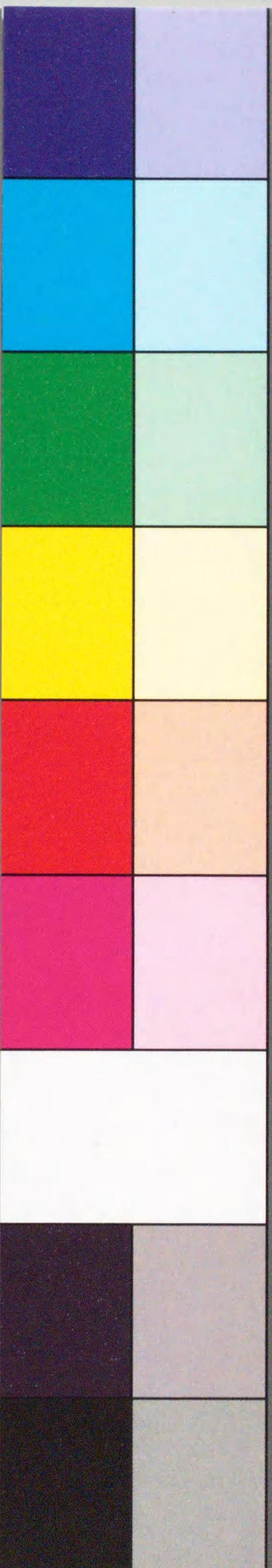
鸚

二三八三

四

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



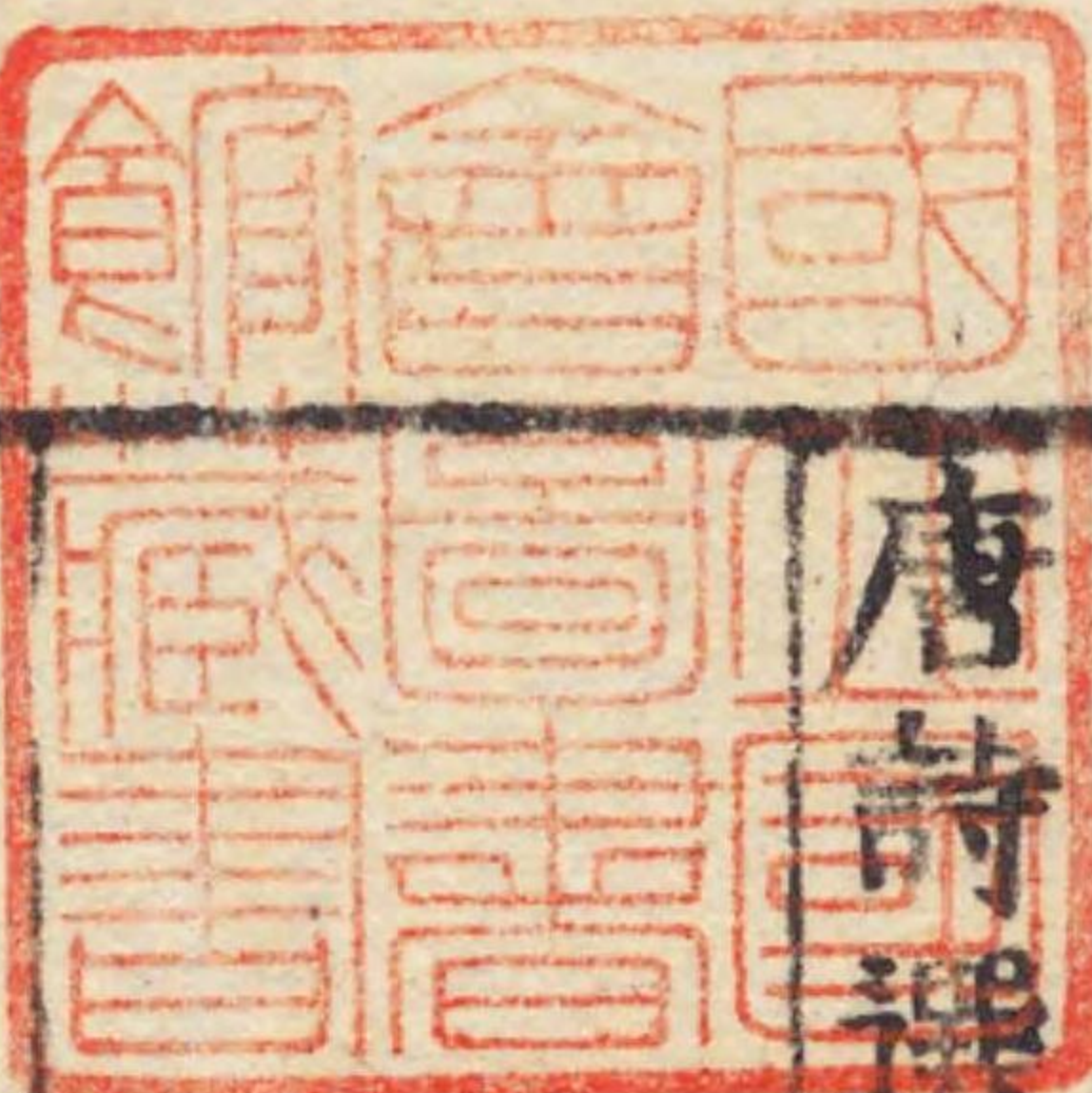
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

唐詩選國字解卷之三



濟南李攀龍編選 皇和南郭先生辨 門人林元圭錄

五言律

五言律ハ七言律ヨリハ堅ク作ルコト故作リヨイカチヤ。七言律ハ甚ダ難イモノナリ。誰モ知テ居ル通リ。惣体領聯テハ先ツ上ノ二句ヲウケテ云ヒ。聯子テ起承轉合ノ意テ。跡先ノヨク格ノツクヤウニ作ルカヨイ。余ノ詩人ノ詩ヲ見レ。唐詩ヲマテ。内カラ一字ニ字ツク切テ作ルユニ。間ニハヨイ句モアレ。始終ノ脉絡ガツカヌコト。ヨイ句カ有テモ。マタタノス。全躰ガ悪イニ。ツテ取ラレヌ先ツコレヲ合點シテ。アトサキノ脉ツキ。合點シテ。マタダガヨイ。諸家ノ詩。詰ニ云々通リ。領聯頸聯ト。イロノ名カアツテ。ムツカレ。トチマ。マシ。ハ上手ニ成テハ。何モカモイラヌ。初心ナ内ノイ。チヤ。上手ハソノ中ニ。自ラソノハツテ。先ツコノマウニ。領聯テ。上ノ句ヲ象リ。頸聯テ。轉ジテ。外ノコトヲ云テ。一篇ノ脉ノツクカヨイ。タマ何トヲク。スイト平地ヲ。ミルヤウテ。ハワルイ。ソノ内ニ。ハ山モ。從尊ハ。川モ。流レ。子バ。風景ガ。面白クナイ。初ノ領聯ヨリ。頸聯ハ。轉ジテ。モ云ヨイ。尤モ此内ニ。ハスクニ。云モ。間ニ。ハアレ。レ。マツ。轉ジテ。ツクルガヨイ。五言律起句ガ。破題ニ。句。含聯ニ。句。頸聯ニ。句。結句ニ。句。アル時。句カラ。ヨリ。モツリ。合ガ。大切テ。字聯カ。アル。選ニ。アル。詩ハ。皆ドレ。モ手本ニ。ヨイテ。アル。

野望

野望(出テ)ソノヲ。ナガメテ。作ル意チヤ。王績ハ。階ノホノモノテ。世間ノ乱レ立テ。寄処モナイヤウス。悲テ作ル。

王績

東臯薄暮望

東臯(トウカウ)薄暮(ハク)望(ボウ) 王績ガコトヲ。東臯子ト云フ。タノガアレ。ミテハ。東臯ハ。東方ノ岡山ト云ホトノコトデアアル。

徒倚欲何依

徒倚(トウイ)欲(ヨク)何(ナニ)依(ヨ) 徒倚ハ。徒倚ノ

貌テ、グアリト、居牛、テ、アル、ノ、上、句、ヲ、
承ル、欲、何、依、ノ、三、字、ガ、眼、目、ア、アル、
樹、樹、皆、秋、色、山、山、惟、落、暉、
ナ、レ、ト、モ、ノ、テ、アル、ニ、タ、ヨ、リ、モ、ナ、ク、來、テ、ミ、ル、ニ、付、テ、モ、弥、ミ、ル、ホ、ド、ノ、カ、
心、ホ、ク、ナ、ル、コ、ト、ハ、遠、ク、見、ノ、シ、ト、イ、ヒ、惟、ト、イ、テ、感、カ、ル、
禽、歸、
禽、近、ク、ヲ、ミ、レ、バ、牧、人、ナ、ド、ガ、暮、合、モ、ナ、ル、ニ、
獵、ノ、野、飼、ノ、コ、ウ、レ、ラ、先、ニ、タ、テ、
獵、人、ガ、馬、
落、暉、
樹、々、ノ、秋、色、山、々、ノ、
落、暉、
樹、々、ノ、秋、色、山、々、ノ、
落、暉、

相、顧、無、相、識、
ト、コ、ノ、ミ、テ、モ、無、相、識、誰、レ、ラ、相、手、ハ、ナ、
長、歌、懷、采、薇、
コ、ノ、ウ、ウ、ニ、タ、ヨ、リ、
此、詩、ヲ、作、テ、長、歌、ス、ル、ニ、付、テ、古、ノ、無、道、ヲ、カ、ナ、シ、テ、伯、夷、カ、采、薇、ノ、
詩、ヲ、歌、フ、タ、ト、同、ジ、意、テ、有、ト、云、義、言、外、ニ、乱、世、ヲ、悲、シ、ム、コ、ト、ガ、アル、

從、軍、行、
手、前、ノ、不、遇、ヲ、イ、キ、ド、ラ、ル、意、ガ、アル、
楊、炯、

烽、火、照、西、京、
此、コ、ロ、ヒ、タ、モ、邊、塞、ニ、サ、ワ、キ、ガ、アル、ニ、付、テ、方、々、ニ、
中、ノ、モ、ノ、ガ、氣、ツ、カ、ヒ、思、フ、テ、
氣、ガ、落、ツ、カ、ヌ、心、中、不、平、
牙、璋、辭、鳳、闕、鐵、騎、繞、龍、城、
其、ニ、三、大、將、ハ、割、符、ヲ、
武、者、カ、邊、塞、龍、城、ヲ、二、重、三、重、ト、リ、マ、ワ、シ、テ、
雪、暗、凋、旗、畫、
雪、ノ、降、ル、ニ、モ、旗、ヲ、立、テ、
旗、ノ、モ、ヤ、カ、ナ、ド、モ、
風、多、雜、鼓、聲、
邊、塞、ハ、風、モ、ツ、ヨ、イ、ニ、ヨ、ツ、テ、人、數、ヲ、カ、ケ、ヒ、キ、ス、ル、大、鼓、ノ、聲、
寒、苦、ヲ、ス、ル、ト、ウ、ス、ヲ、云、ニ、句、悲、愴、ヲ、ア、ル、千、夫、長、萬、
天、長、ト、云、フ、ガ、アル、百、夫、長、ト、ハ、ソ、ツ、カ、ナ、小、頭、ヲ、云、
寧、爲、百、夫、長、勝、作、一、書、生、
漢、

杜、少、府、之、任、蜀、州、
杜、少、府、ハ、官、テ、蜀、州、ヘ、役、人、ニ、
任、セ、ラ、レ、行、存、テ、送、別、ス、ル、コ、ト、ガ、アル、
王、勃、

城、闕、輔、三、秦、
城、闕、ト、云、ハ、禁、裡、ノ、一、闕、ノ、字、ヲ、付、タ、ハ、ナ、レ、バ、蜀、ハ、要、害、ノ、ヨ、イ、處、テ、天、子、カ、
都、ニ、ミ、ト、メ、ル、コ、ト、ガ、アル、ト、キ、ハ、先、ニ、番、蜀、ノ、方、ニ、カ、ツ、テ、ガ、ラ、子、バ、ナ、ラ、ヌ、玄、
宗、蜀、ヘ、シ、ラ、シ、レ、テ、後、蜀、ヲ、都、ト、稱、シ、タ、モ、此、コ、ト、ナ、リ、
關、ト、イ、イ、タ、モ、ノ、テ、アル、三、秦、ト、云、フ、テ、項、羽、
ガ、ト、ト、關、中、ヲ、三、分、シ、テ、三、大、將、ヲ、居、タ、カ、アル、ニ、ヨ、ツ、テ、三、秦、ト、云、フ、テ、長、安、ノ、都、ノ、コ、ト、ナ、ル、輔、ト、
云、ハ、漢、ノ、ト、キ、有、タ、コ、ト、都、ノ、一、中、ニ、京、兆、尹、ト、云、テ、町、奉、行、處、カ、立、テ、アル、三、里、モ、四、里、モ、ハ、タ、テ、東、差、焉、
關、ト、云、カ、アリ、又、西、ノ、方、ニ、右、扶、風、ト、云、フ、ガ、アル、コ、レ、ラ、三、輔、ト、イ、フ、此、三、處、ノ、役、處、ノ、中、テ、ド、シ、サ、ワ、キ、カ、
起、テ、モ、殘、リ、
二、處、カ、ラ、人、ヲ、出、シ、相、互、ニ、タ、ス、ケ、
風、烟、望、五、津、
關、於、八、都、ノ、難、義、ナ、時、ハ、
三、秦、カ、都、輔、ト、ル、處、テ、大、切、ナ、處、又、風、烟、風、景、ノ、分、ハ、南、ノ、方、五、津、蠻、ヨ、リ、ヒ、ス、ノ、南、蠻、ノ、地、ハ、
イ、テ、時、々、ハ、狄、ノ、サ、ワ、キ、出、ヌ、處、テ、油、斷、ノ、ナ、ラ、又、吸、テ、アル、カ、ヤ、ウ、ナ、大、切、ナ、處、
ソ、モ、ト、ヤ、ウ、ナ、オ、ノ、ス、ク、レ、タ、人、テ、ナ、ケ、レ、バ、ナ、ラ、ヌ、ト、其、人、ノ、
與、君、離、別、意、同、是、宦、遊、
行、ク、處、ヲ、キ、ヤ、ウ、ザ、シ、ニ、云、ヒ、タ、テ、ス、ク、ニ、ソ、ノ、人、ノ、オ、ラ、ホ、ル、テ、ル、

人、海、內、存、知、已、天、涯、若、比、鄰、
全、其、モ、ト、離、別、ス、ル、ニ、付、テ、別、レ、テ、名、殘、オ、シ、イ、テ、
我、モ、ソ、チ、タ、モ、宦、遊、ノ、身、ノ、一、ニ、此、年、ゴ、ロ、都、テ、
ト、ソ、キ、合、フ、タ、ニ、今、其、モ、ト、離、レ、テ、來、年、ハ、オ、レ、ガ、ド、コ、ノ、國、
逐、ヤ、ラ、レ、ヤ、ウ、モ、知、レ、ス、
再、會、フ、
コ、ト、モ、ハ、カ、リ、難、イ、
離、別、ノ、愁、ガ、深、ク、サ、リ、ナ、カ、ラ、相、互、ニ、心、ヲ、知、リ、
合、フ、タ、知、已、ト、云、モ、ハ、海、
嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

嵩、山、房、

内四海ノ内ドニ居テモ死ナズニ存在シタラバ天涯ノ無爲在岐路兒女共沾巾
ソラノハテマデモ鄰同志ノトウナモノデアアル
無益ナリト云義デアアル好ク思フテミレバワカレギハニ岐路ノツチテ兒女ノヲシテワラマノヤ
ウニ沾巾ノトクト云モノハ無益ナリデアアルナセナレハ心サカハラ子天涯ヲ隔テ居テモ鄰モ
同前ニ兵ト云ハ別レテ行ク
人ト送ル人ト共ニデアアル

廻次樂郷縣

樂郷縣ハ南方ニアルコレ訓解ノ註ガツルイ征ノ字ガアルニヨリテ從
軍ノ一見夕全クサウデハナイ乱後ノ体ヲ作テ前ヘコノ処ヘ來テ

陳子昂

故郷杳無際日暮且孤征

今コノ樂郷縣ノ近郊ニキテ故郷ヲフリカヘリテミレバ
杳然ト遙ニシテ無際獨リ旅ノ一暮方ニホッ

川原迷舊國道路入邊城野成荒烟斷深

山古木平

前方タニニ処ヘキテミタトハ何モイカフチカフテ不舊國コレモチカウ
タト思ヘ別レテ心細イデアアル迷ト云字ヲ非ノ字トナシテヤハリ非舊國ト云シテ

如何此時恨嗷嗷夜猿鳴
如何ソ唯ダサハナイ此時ノ
愁嗷々ト猿ノ啼ク声ナドモ

春夜別友人

吾ニ餞ヲシテクル人
留別ニ作テラクルデアアル

銀燭吐青烟金尊對綺筵

夜酒盛ノ一ユニ銀箔ヲ以テ飾タリシハ蠟燭ヲ
トホスユニ烟リモヨク吐テ金樽ノリツツ樽ニ酒ヲ

離堂思琴瑟別路繞山川

リテ今夜ノ別レノ
座敷離堂デアガ

長河沒曉天

ソウノ内ノ宵ノ間ハ見ヘ夕明月モ高樹ニカクシテ見
ウレナレ長河ノアマノガハモ曉方西ヘトケレシテ見ヘ

悠悠洛陽

去此會在何年

年ニスルデアアラフツト友ニナコリテ惜ミ礼ヲイフデアアル

送別崔著作東征

崔氏ノ著作即ノ官ノ者ガ書記デアレテ
行クト見エルコトニナルヲ作デアアルデアアル

金天方肅殺白露始專征

金天ト云ハ秋天ノ一ニナルカタイ文字ナレト下ノ白露
ト對スルヨツテ好イデアアル秋物ヲ肅殺ス殺伐ノ

王師非樂戰

サテコノ王者ノ師ヲ出ストモハ
有征無戰ト云マテ是非ナク兵ヲ

之子慎
氣ニ乘メ征伐スルト云フガ古ノ礼デア
アルユニ白露七月ニ成テ始テ專征ス
ツカハサルケレドモサヤノ者カレヅミルト直ニ師ヲ御カヘリサル義デア全ク
タノレ思召スノデアハナインレ故テ詩ハ崔著作ヲサヤ兵ヲヨミノ軍好ラシク

佳兵

佳兵者不祥器ト老子ノ文字ニアル海氣ハモスノ氣カ中國
都ノ近郊ニテ侵レシテ邊風ハ北平郡ノアタリテ吹テキター

邊風掃北平 海氣邊風中國ノ方ヘリスルガ侵シテ 込テクル付テマテ イキ難ク思召テ其元ナドヲ征伐ニツカサル其元ノ心得ノ為ニ 莫覓

盧龍塞歸激麟閣名 盧龍塞アタリテ好イキフイニコレラヘテラニソレウリツケ 都ノ歸テ麒麟閣名ヲ題セラルヤウナトハレヤルナリ此

時分邊塞行テモ兵ノテキタワヌサキニ此方カラ軍ライニカケテ夷ノ首ヲナモテ取テ都ニ

蓬萊三殿侍宴奉敕詠終南山 蓬萊三殿ハ御酒宴ガアツテ杜審言言テ御 供侍終南山ト云題テ作リ一七イト

勅カアソテ 杜審言

北斗桂城邊南山倚殿前 長安ハ北斗星ノ直ニ下當ツテアル故ニ北斗城トモ稱ス 半城ノ北斗ノ星ハ禁裡ノアタリニツラマツテ有テ

終南山蓬萊殿ハ身ノサキニト高フ 雲標金闕迥樹杪玉堂懸 三殿ヨリ オコソツテ蓬萊殿モタレカツテアル

雲ノハツヨリ見ヘテ玉堂ハ大抵天子ノ御坐ル処ヲ云時ヨテハ終南山ニ桑テアル山神堂

ガウタコシテ山神堂ガ 半嶺通佳氣中峯繞瑞烟小臣持獻壽長此

戴堯天 御所ノ佳氣ガ終南山ニテ通ジトイフテ中峰ノニ中ホレマテ都天子 日出度瑞雲カ引キメクツテアル小臣幸イニ南山鸞クス崩レスト云一ヲ

以テ献壽御祝申テイツマテ堯天ノ如クノ御世ニツカテワレトモ

和晉陵陸丞早春遊望 早春遊望ト云フガサキノ題テ晉陵ハ 南方其邊ノ佳スル陸氏ノ者テアル

獨有宦遊人偏驚物候新 春ハ面白ク替テアルニ我モソナタモ獨リ宦遊ノ人バ カリ偏ニ下スチニ節物風候ノ新タナル敬馬クデアアル

雲霞出海曙梅柳度江春 殊ニ南國ニ來テ居ルハ故ニ朝モ雲霞ガチ赤フニ エルト海ヨリ日ノ出ルガ見ユテアル梅柳ナドモイ

ミダ花サカヌ度江江南ノ方ニ來テハ花サカリデアアル此ニ句名句チマト云カイウサウモ

カラ日ノ出ルナト云一ハ見タトモイ梅柳ナドモ早春ノ時分ハ都デ花ハサカフ

鳥暗光轉綠蘋 淑氣ノアタカナ氣ガ驚ラ催シテ春ノハジメノ一ニ蘋ナドモハ ラニアルト云 淑氣ノアタカナ氣ガ驚ラ催シテ春ノハジメノ一ニ蘋ナドモハ

忽聞歌古調歸思欲沾巾 其モトノ古調ノ中ニ古鄉戀シイト云一ガ 作リタテアツタラミア吾モ忽チ古郷ヘ

和康五望月有懷 康五ハ望月有懷ト イフカ題デアアル

明月高秋迥愁人獨夜看 秋ノ空高フスミノ余ツテアル処ハ月ガ高クカツテ遙ニ ミルタサハ月ハミノサミシイモノデアアル有懷愁人カ獨

暫將弓並曲翻與扇俱團 將ノ字兼ノ字與ノ字ミナ同シ心テ アル前後ノ文字ヲムスニアアルコト

居テミルニ付テハ 暫將弓並曲翻與扇俱團

下度ト云意ナリ此ヨセハ日ノ間暫ク弓ハリ月デ
アツタカモウ十五夜ニテツタモ故ニ團扇ナリニテツタ
露ガシツホリトオリテアツタ清輝ノ月ノサヘキツタノアラフヤフニ見テ苦ハ苦祭ノ義テ
月影ガサヘキツテ寒フ見ヘルガ苦キヤ風モ月カゲノサヘキツタ素影ヲ飄ノイヨク寒フニ
ル

羅衣一此鑿頓使別離難
ツケテニハカニ別離ノシニクイト云フ合點シタ離別ノシヤ
スイト云ハソウナラフヤハ別レニクイモノニキハミツタ
サテク旅ト云モノハハカナイモノデアアルハ八月比此ヤウニ
寒クナルマデヤツハリ夏衣ノミデア居ルコレブニルニ

送崔融
記ニ行クト見ヘル
崔融ガ從軍ノ書
君王行出將
此時分天子ノ御出陣ト云フハナカツタ
トレゾ親王方カ諸侯王タチト見ヘル
甚タ重イ君王方カ直々ニ御出ナサルテ有去ルホトニオ智スグレタ其モトヲ
エラシテ書記役ニ仰付ラレテ遠ク征ニ行カルハイカフ晴シテ義デアアル
祖帳ハハナムケスルトテ幕ナドヲ河水ノアタリマデモハリツラ子デアアル
祖トイフハハナムケスル処テ道ノ神黄帝ノ子壘祖ヲ祭ルデアアル
軍麾動洛城
ト云ハ軍兵ヲサシススル小旗サイノヤウナモノソレヲ人持ノカタハラニ持タセテ大勢入敷ヲ
引ツレテ行カル故ニ動洛城コノ二句邊塞ヘ行クニ付テ景ヲ思ヒヤツテ云フ

旌旗朝朔氣
旌旗ヲ朝立テ朔氣ノ北風ノ
寒イモ油斷セズニタテツラ子オキ
結吹夜邊聲
夜モスカラソイニ
關カレ又胡笳ノ
アハレナ声ヲ聞カレテアラフ
坐覺烟塵掃秋風古北平
ソノロソボク
イ坐ニ居ラカラタノレシテ
ナラバサソカナレトデアアラフ
タルハ大將モコトニ其

扈從登封途中作
高宗ノトキ泰山ニ封禪ノアツタトキニ
扈從シ天子ノ御幸ナリルニ御供ヲノセリ
宋之間
帳殿鬱崔嵬仙遊實壯哉
途中ニ柳茶屋ノヤウノ処ガコレラヘテ御休息ナサル
一ガアルシカモ崔嵬ト高ク鬱然トシケツテアル
間ニ帳殿ガ立テ有テカヤウナ天子ノ盛ニ仙遊ナサルト
一フモノハ實ニ壯ナルカナ終ニ見又義デアアル
曉雲連幕捲夜火雜星
多ク
山ニ登ルニ隨テソロク夜カアクルニヨツテ帳殿ノ幕ヲハツテオク処カラ夜ガアケテクテ
アル雲ト幕トトツニナツテメグルヤウニ見ヘ昔東カ光ト雜ハツテ山ラメグルヤウニミヘル

谷暗千旗出山鳴萬乘來
ル天子ノ萬乗ガ谷アイノ暗イ間ヨリ供廻リガ上ルモ
ソロク高ミヘ出テ見ヘル供廻リヲツツテ行幸ナサル
右ニ大執ノ者ノキハヤレガヨナタイヒヒテ山モ鳴テ漢ノ武帝ノ時封禪ガ
右タ具トキ山呼万歳ト云フガ有ニヨツテソレラフマヘテ云フデアアル
扈遊良可賦終
コ
レフ

乏揆天才
如此相互ニ仙遊扈從スルト云モノハ良ニメツラシイテ良ニ可賦ト仰ラレソウナ
モノナレバ揚子雲ガ如トキ揆天才オ乏イニヨツテ天子ノ御目通りニ出ルヤウナ
トテハナイト云テ下心ハ揚雄ニカラス文才自慢デアアル○文選蜀都賦ノ中ニ揚雄ガオラホナテ
摘操揆天庭トアツテ揚雄カ文ヲ天子ノ御目通りヘノミアラハスト云フコトデアアル

送沙門弘景道俊玄壯還荆州應制
依僧デアアル
一乘歸淨域萬騎餞通莊
三人ノ高僧タチガ三車ニ乘テ愛ノ方清淨ノ地ヲ
尋テ行カルニ付テ天子カラ仰付ラレテ大執萬騎

一乘歸淨域萬騎餞通莊
三人ノ高僧タチガ三車ニ乘テ愛ノ方清淨ノ地ヲ
尋テ行カルニ付テ天子カラ仰付ラレテ大執萬騎

一乘歸淨域萬騎餞通莊
三人ノ高僧タチガ三車ニ乘テ愛ノ方清淨ノ地ヲ
尋テ行カルニ付テ天子カラ仰付ラレテ大執萬騎

一乘歸淨域萬騎餞通莊
三人ノ高僧タチガ三車ニ乘テ愛ノ方清淨ノ地ヲ
尋テ行カルニ付テ天子カラ仰付ラレテ大執萬騎

一乘歸淨域萬騎餞通莊
三人ノ高僧タチガ三車ニ乘テ愛ノ方清淨ノ地ヲ
尋テ行カルニ付テ天子カラ仰付ラレテ大執萬騎

ガ通莊ノ岐ハ出テ、**就日離亭近彌天別路長**、別レル処モ天子ノ御近処デハルカニ、
饒ラスル義デアアル

アル処ハ遠ク行カル、茂ナレバ別路長テ、**荆南旋杖鉢**、南方ノ蜀ノ地荆南ノアタリラ、
アル彌天ノ道安ヲモチコシダモノチヤ

アラ、**渭北限津梁**、ソレニ付テ今都渭北ノ方ニオル者ハ山川ヲカギリヘタテ、アル高僧タチ、
濟渡ノ津梁ニ逢ヘモ有マイソノ實ハ渭北ニ甚ダ難処ナ、舟渡タ

リガアルニツイテモ、**何日紆眞果還來入帝鄉**、何レノ日カ眞果ヲ全フ、修行成就シ、
チアフテアル

ラル、ヤウニレタイモノヂヤト、**長寧公主東莊侍宴**、長寧公主ハ中宗ノ娘御デアツテ、揚慎ト云フモノニ嫁セ、
ニチカケルノデアアル

別業臨青甸鳴鑿降紫霄、サテ此別業ニ至ツテミレバ青ハ東方ノ色デ、東方ノ
付テ、鳴鑿金ガ紫霄ヲ御下リナサレテ、ワザク御幸カ

アルト云フデアアル紫霄ト云ヘバ天子ノコトニナル、**長筵鸚鵡集**、サルホドニ公主ノ
百官百士、鸚鵡鳥ノ如ク

位ニヨツテ、席順ニ並ニテ、**仙管鳳凰調**、調ハ和調ノ義デ、調子ノトノフニナルデアアル、
常ナラヌスクレタラデアアル、実ハ弄玉ガ故事ヲ用テ、公主

御夫婦ガ中ヨク天子ニ御チサウ申スト云フニナル、**樹接南山近**、廣庭カラ樹、
木ガ終南山ノ

方ニ引ツイテ、**煙含北渚遙**、見ワタス処ノ風烟風景ト云ヘバ北渚マテヲ含ミ、
アルヤウニアル

已醉、皆ガ御酒宴ニアツカリ、恩ヲ、**戀賞未還鑣**、此公主ハ挨拶テ、酒ニ酔テ、
ウツクノ酒ニ酔テ、居ルニ付テ

リラス、ムル者モナイ、天子モ還幸ヲ、**恩敕麗正殿書院賜宴應制得林字**、麗正殿ノ書院デ、玄宗イロクノ
ワスレテ、御座アルヲ云タモノデアアル

此処講釈ヲ答ナリノアルトコロデアアル、其処ニ御酒宴ニアツカツテ、**張說**、
詩ヲ作レト詔ガアツテ、作タデアアル、切り韻ヲ林字ヲ得タリ

東壁圖書府、東壁ノ二星ハ文籍ヲ主ル星テ、天下ノ圖書力納メテ有ニ自テ、麗正殿ノ
書院ニオイテ、天ノ東壁モ同じデア、大切ノ書物ヲ納メテオカル処デア

西園翰墨林、サテ、其処ヘアツツテ居ル者ハト云ヘバ古ハ魏ノ文帝ノ弟、陳思王ノ西園
墨林ト云ヘバ、オノ大勢

アツツテ、居ルニナル、**誦詩聞國政講易見天心**、國々ノ詩ヲミセテ、風俗ノ政、
講釈ヲサセテ、天ノ

心ヲ考テ御覽タル、**位竊和羹重**、書經ニ傳説ガ、殷ノ高宗ハ始テ仕ヘタトキ、高宗ノ
ノ政ヲ任スルヲ云コトデア

恩叨醉酒深、我カ如キ不オノ者カ、オ羹天ノ重キ位ヲウケテ、
重キ位ノコトニナル

如ク、御恩ヲウケテ、御酒宴ヲタマワレトイフモノタリ、カウムルモ同シデア、**重恩位ト云字ヲ**
折用シタモノデア、詩經ノ泮水ノ篇ヲウケテ、泮ハ泮宮トテ、詩聞處ノナリ、泮水ノ篇ニ

疾ノ御供ノ伴宮ニアソシテ。載歌春興曲情竭爲知音。スナハチ春興曲ノ詩ヲ作テ申シテアル天子ノ

詔カ御子ニ付クコトニハ。如是憚カラズ情ヲツクシテ申シ上ル知音ハ。音樂ニ付クコトナレドモ。ハ詔カ御子ニ付クコトナト。云フ意ニナル

還至端州驛前與高六別處。嶺南ヨリ端州驛ニ歸テ前ニ高六ニ別レテ。今ハ高六ハ死タニ付テ思出シ悲テ作ル

舊館分江口。端州驛ニ來テ見テサテ此分江ノホトリ。凄然望落暉。影ナドヲ

相逢傳旅食臨別換征衣。サテ此処ニワカレ時分互ニ相逢テ。禮儀ヲノ傳旅食先ツ其元

昔記山川是今傷人代非。リテ人此處ニ飯テミレバカレニカラヌモノハ山川ハカ

往來皆此路生死不同歸。ワカレテ行クニモ今歸ルニモノ路ヲ

幽州夜飲。幽州ハ北方ノ地デアアル大將ナトニツテ居ル者ト見ユル。酒宴ヲノ氣象ナリヲ云テテ。都ハ飯リタイト云フ作ル

涼風吹夜雨蕭瑟動寒林。時分カラ秋ノノニ涼風カ夜雨ヲ吹テ寒林ヲ動カヌ。風ノノ音ガ蕭然トヒノサミシク聞ヘテ

正有高堂宴能忘遲暮心。正ト上ラウケテサレニ付テ皆カトリハヤノ高堂ニ。酒ヲ灌メナクサメテクルケレ此年モ未ニナツタ

軍中宜劔舞塞上。ヨト思ヒ出ノソスレカ子ル遲暮ハ月ロノ行ク義ナレ下心ハ年ノ行ク義ニ付クコトニ志ヲ得ヌト云フガ。遲暮デアアル

重笳音。軍中ノノニ常ニナグサムト云テハ相應ニ劔舞ナドスベキトナレ下心アラ。ソホイ劔舞ナドモモノヲ馳走ニスレバ都テ見ナレヌモノト云フ下心テ

不作邊城將。アル又吹クモノハトイハ邊塞テ胡人ガ笳ヲオモシメ大切ニスリト云テ馳走。吹ケドモコレニタ都テ見ナレヌモノテ都ノモノガ關テハ結ク悲フタル

誰知恩遇深。邊塞ノ大將ニナツテ。三子六知ラヌコデアアルトスラリト云ヒカケテオイテ。コレミナハンビモノデアアルト六句ニ氣ヲツケテ見タガヨイノ涼風蕭瑟ト都ヨリハモノサヒミ

御酒宴ニアツ。ク劔舞胡笳總テラモモカヲヌコデアアル都ノ音樂吹物トハイカフチガフア天子御前

宿雲門寺閣。雲門寺ノ山門ニ登テ。トニツテ居ルデアアル

香閣東山下。雲門寺ハ東山ノ下ノ一段高イ處ニ建デアアル。烟花象外幽。烟花ノクカラノ風景モ通リク

懸燈千嶂夕卷。物シツカニ奥フカクアツテ象外ハ人ノ見ツケヌ又ヌライフ日暮レテ。懸燈ノ千嶂夕卷

幔五湖秋。夕ノ字夜ノ字ト心ヲ同シニツヨクイフタモノデアアル幔ハ戸ヤウノヤウニツテ

卷テ見ルニニ南向フニ南方五湖ノ方ガノコラズ見ユルヤウニアツテ

孫逖

唐詩選國音解 卷三

畫壁餘鴻雁 紗窗宿斗牛

壁畫方カイテアル方古ビテ処々ニ雁ノ大トカニ匹キ
ノコツテ有テ紗窗ノモモバリノ窓ノアイカニ

見レ斗牛ノ星カ 更疑天路近 夢與白雲遊

斗牛ノ星カ見レテ更ニ疑テ天路ノ近ク見
ユルハ夕夕カクニキテアル更ニ其ニ

天上ルニチスチモ近イトウニ思ハル 夢ニ白雲ノ
ソバニ來テ白雲トモニアソフカトウカハル

幸蜀西至劔門

コレハ玄宗ノ蜀カラ
歸リカケク詩ト見ユル

玄宗皇帝

劔閣橫雲峻 巖巖出狩回

劔門山ノ高キヲ云出テツトタカク横雲ニ峻ク云
ノ一ニニ巖巖ニ蜀出狩シテ歸ル出狩ハ天子他

國へ出ルヲ春秋 翠屏千仞合

山トモカクキツツテ合ノ一ニナツテ見ユル
道ノ左右ヲ見ルニ何レモ屏風ヲ立タヤクニ匹

丹嶂五丁開

切り通レ道ヲ道ノ両ワキノ赤岩ノカケテ下ヲ見ルニ付テコレハ昔ノ五八
ノカエカ出テ切通レタト云ガイカサノ人間ノサトハ見ヘ又

灌木繁旗轉

灌木ノ樹木ノ中ヲ旗ヲタテテガリ轉シテ御通リ
ナサルニヨツテ稍旗ガマトウナウニ見ヘテ

乘時方在德 嗟爾勒銘才

今トキ乘ノ天下
ヲ治ムルト云ル

嗟嘆シテ孟陽ガオラ 柳ホメナサルデアアル

塞下曲

樂府題テ出征スル
題キテ作ルデアアル

李白

塞虜乘秋下

秋ハ馬モ連背フルニ付テ塞虜ノ北ヒストモカ秋ニ乘シテ都ノ天
カヒメクタルニヤマ地ハ北狄ノ地ヨリヒソニ依テ下ルト云フ

兵出漢家

北狄ガセメ來ルニ捨オキカタク思召テ
是非ナク天子ヨリ防ギニツカハサル 將軍分虎作 錐虎竹使符

將平生竹使符 用ルワリ符ノ一ニ分ツト云コリ 以テ大將ガ
出陳メ入次第ニトコナリトモ云付テ軍兵ヲ出リスル

天子ヨリワリ符ヲ賜ツテ大勢ノ人數ヲ引ツレテ邊塞ヲモム
邊塞ニ行ツクト龍沙アタリニ陣ドリナレテ沙原ノ上起臥ヲソナル

霜拂劍花

夜モスカラキツト子スニ弓矢ヲトリ 劍ヲヌキミニノ居ルニヨツテ
夜モスカラキツト子スニ弓矢ヲトリ 劍ヲヌキミニノ居ルニヨツテ

劍ニ霜カフリカクルヲ
云テ劍ノヤキヅヲテナル

玉關殊未入 少婦莫長嗟

夜書トナク軍ニ入り
ツテ居ルニ付テハ玉關ニ

秋思

景色ニ付テ
閑怨ヲ云フ

燕支黃葉落 妾望自登臺

時分カラ秋ノコトニ我ガ夫ノ居ル燕支山ノアタリ
ノ木ノ葉モ黃葉ニテ散ルデアラウト思ヒ出ス

海上碧雲斷 單于秋色來

我ガ夫ノ居ル
アタリニ

付テ益モナイナガラモ自ヲ我シ知ラ
スニ登臺テ燕支山ノ方ノノニ見ル
海上碧雲斷 單于秋色來
我ガ夫ノ居ル
アタリニ

秋色色モ来ハヤウニ。胡兵沙塞合漢使玉關回。胡兵沙塞合漢使玉關回。關中長中。此項モ都。子。遣塞ハ

用テ通ル。御使ガ玉關カラ。征客無歸日空悲蕙草摧。我ガ夫ハ征客ナリ。カハルト云テモ知ラズ。ル

ウレタラバ夫ノ婦ラヌウニ。顔色ガクダケテ。衰フルテアラフカナシイテ。アル蕙草婦ノ顔色云云

送友人

青山橫北郭白水遶東城。起句ニ景ヲ述テ。今別ル。場也。北ノ方ヲ。見ル。青山ガ北郭ノ方ニ橋ツテ。白水ガ東城ヲ遶テ。流ル。

此地一爲別孤蓬萬里征。今此処テ別ル。ニ付テハ。漸蓬ノ如ク。浮雲遊子意。遊子ハ旅ヲスルヲ云フ。今ソコモトノ心ヲ思ヒヤルニ。萬里ヲ往ミテ。トコヘ落ツ。落日故人

情。地ニ止ツテ。居ル我ハ落ロノ暮方モ。サヒイ。揮手自茲去蕭蕭班馬。揮手自茲去蕭蕭班馬。時分ナドハ。サゾ其元ノコヲ思ヒ出ノ。アルテアラフ。

鳴。乘テ出ル馬モ哀シク。知ルト見ヘテ。蕭蕭トモノカナシク。斯クテ。聞テアル。班馬東西ニ。乘

引ル。義テ。左傳ノ文字。馬ノカナシク。云テ。人ノ悲シク。フクモヒテ。オイタテテケル。

送友人入蜀

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

見說。蜀道難於上青天。見說トハ。見ル。蜀道ノ難キ。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。蜀道難於上青天。

秋色老梧桐 秋色老梧桐 秋モスヘニナク
テ梧桐ノ下ニテ
詩ヲ作ツテ、ナクサマフニテ、風景ニ臨ミテ、ドコトモナク、
謝公マシタイ思ヒ出シテ、ラルトハ、誰モ気がツクマシ

臨洞庭 岳陽樓ノボツテ、洞庭ヲ見オロシ、
湖陽樓ノボツテ、洞庭ヲ見オロシ、
孟浩然

臨洞庭

八月湖水平 涵虛混太清 八月は、湖水が一面ニタ、テ、ミツ平ニナツテ有ルニ付テ、洞庭
ハ甚タ廣イコトニテ、太清ニ混ンデ一故ニナルテアル

氣蒸雲夢澤 波撼岳陽城 朝日ノ出ル時分ニ楚ノ七澤ノ中ニ雲夢澤ノ下ニ
ラ水氣ガムレリ、大波ガ起テ、岳陽樓ノ石垣ニウ

欲濟無舟楫 端居恥聖明 舟楫ハ天下ヲ治ルコトナリ、舟楫ハ天下ヲ治ル
宗ノ博說ニ謂テ、云甚、濟、巨川、用、汝、作、舟、楫、の、濟、トイフハ天下ヲ治ルコトナリ、舟楫ハ天下ヲ治ル
イ者ノ才力ノ不足ニ付テ、治メテ見タイモト思ヘ、何ヲ云フテモ舟楫ノ才力ナクナリ

坐觀垂釣者 徒有羨魚情 董仲舒ガ策ニ臨淵羨魚ノ如ク退
知ツテトリ、上ルカ、坐觀垂釣者、徒有羨魚情、而結網トア、テ、ワレモ、在、ル、ハ、徒
ナラヌト云フアル

題義公禪房 此義公ト云ハ、坐禪スキテ有テ、習禪寂引込テ居
ヲレ庵室ガ空林ノ人カゲモナイ処ニ有テ、作ルテアル

義公習禪寂 結宇依空林 戶外一峰秀 階前衆壑深 折節立立ナドカ降テ、通
ノ戸ヲヒラクト、向フニ、峯、カタカク、秀テ、見ル、夕陽連雨足、折節立立ナドカ降テ、通
鼻アサキヲ見レバ、谷々ガフカク、ツラナツテアル、夕陽連雨足、折節立立ナドカ降テ、通

空翠落庭陰 木カシゲツテ、ナニトナク、青ク見ユルカ、庭、
カゲガサレテ、ヨク、ラフナルカ、庭、
者取遣

花淨方知不染心 庭ノ池ノ中ニ蓮花ノ、淨キカ咲テアルヲ見テ、オク義公
意モ世俗ニソマヌ、清淨デアラフト、オコトヲ、知タ

終南山 終南山ハ一名太乙山トモ云フ、晉テ、述天都トイフ、サテ此終南山ニ於テハ、甚
ダ高クシテ、天帝ノ御座ニ已ニ近イカト思フト云フヲ、今ノ都ニ遠イコト

連山到海隅 山ノワタリノ廣イコトヲ云フテ、ギヤウサニ云ヒ立ルサテ終南山ヨリハ、キツラ
ナツテ、小山ハ、見ワタス処、四海ノスミクニテ、アアルヤ、見ヘル

白雲迴幽谷 向フノ峰ガミ、女ガ、チヨットワキ、青靄入看無、山ノ遠クニ
目ヲスルウチニ、白雲カ合ノ一面ニヨル、青靄入看無、山ノ遠クニ

分野中峰變 陰晴衆壑殊 上モ廣大ニ、一ニ
一面ニ青々トミユルモ、チカク寄ツテ、分野中峰變、陰晴衆壑殊、上モ廣大ニ、一ニ

分野中峰變 陰晴衆壑殊 上モ廣大ニ、一ニ
ミルニレタカツテ、青ニガナクナル、分野中峰變、陰晴衆壑殊、上モ廣大ニ、一ニ

青靄入看無 山ノ遠クニ
見望ダト云ニ

王維

終南山

太乙近天都

連山到海隅

白雲迴幽谷

分野中峰變

青靄入看無

キカセゴノ中国ノ威勢ヲミゼツラテ。予レ気ヨハイフヲレテ。ミセヤルナト古吏ヲ。借り用テ。匈奴ノ
月支王ガ首ヲ。飲器ニ作タコトハ。蛮夷ノ故事ナレドモカリ用テ。イフデアアル

送劉司直赴安西 安西都護ノ
役ニテツテ行ク

絶域陽關道胡沙與塞塵 中國カラ絶キツタ西域安西ノ方ヘ行カルニ付テハ。三
陽關ヲ出テ。行カル道スカラ。胡國ノ沙ヲテ。アツチ

春時右雁萬里少行人 行カル。西域ノ地ハ春ノ間モ寒イニハ。不漸雁ヲ
見ルコトニ都テ見付テ。メト云ガ。コモツテアルカウナサムイ冬

敢覓和親 各物馬草ノ首。舊。名馬ヲ貢ニヒサヒ。蒲萄ノ。漢使ヲ逐カシラ。秋スル
和親ヲ。親類ニシラウナ手ヌルイ。中国ノ外關ヲウチメヤツミモ

送邢桂州 刑氏刑氏ノ巨ムカ合浦桂林郡ノ
太守ニツテ。行クヲ送ルデアアル

鑿吹喧京口風波下洞庭 太守カ通ラルエトトラヤ。吹物ナドヲ鳴シテ。宣シク。ニヤヤ
カニテ。今此京口ヨリ。舟ニリ。南方洞庭ヲ。来リコレテ

赭圻將赤岸擊汰復揚舲 西方ノ山見ニ。異國ノ陣屋ノアル赭圻ナトテ。見テ。通
ラレソコヨリ。赤岸山下ヲ。リ。オロミ。擊汰。ハ。カイヤ。以テ

波瀾心下トカロク揚 惟ス 日落江湖白潮來天地青 日落方日景ガ横スチカイ
海ニウツロフテ。マツ自ニ

見潮モ三千里來リ。ト。トラカギリト云フトモナク。明珠歸合浦 合浦ノ近クニ行カルニ付テ。
廣クミテ天地ヲ見ワタスト。廣イ。フ云デアアル

廉潔人上ニ明珠ノワキハ。徒ツテ 應逐使臣星 使星ト云フ文字カアルニ付テ。使臣星
アツタモ。其死ノ徳ヲミタフテ。カハレテ。アラ

使至塞上 御用テ邊塞都護府
ノトヘ行クトミユル

單車欲問邊屬國過居延 大勢ノ大將トイフデモナク。タ。一人邊塞ニ向ヒ尋ヌル義
テ。手廻リ少々テ。單車ニ乘テ行ク。段々天子ノ屬ニ

邊塞アタリス。通リスキテテテ 征蓬出漢塞歸雁入胡天大漠孤烟直長河
屬國トテ。吟味シテ。居延 征蓬ト云フ。蓬ノ飛ガ如クニ。テ。手ク。遠クユキ。歸雁ト云フ。胡ノ地ニク。行クニシタ

落日圓 漢塞ヲ出テ。蓬ノ飛ガ如クニ。テ。手ク。遠クユキ。歸雁ト云フ。胡ノ地ニク。行クニシタ
カツテ。クワラリトシタ。沙漠面テ。山モナイニ付テ。風カナイニハ。ハナレノ家ナドヨリ

烟リガ上ルガ。ツスグニ。ボツテ。何ノサハリモナク。又タ日ノ海ニ入ル 蕭關逢候騎都護在
ナドヲモ。初テ。オドロク心ヲ。上。句。旅情ヲ云テ。日圓ノ。字ヲ。ミセタ

燕然 都護ノ府ノ間モアルミイト思テ。蕭關アタリテ。候騎ニ出アフテ。都護ハ。ドコニイラル
ト。問タレバ。燕然山ニ居ラルト云フカ。サダメテ。遠イ。フデアアラフ。候騎ノ。案内物見ヤ。ヤ。者

觀獵 カリヲスルモノトシテ。立テ。一日出
アルイタ。ヤウスヲ作ルデアアル

風勁角弓鳴將軍獵渭城 冬ノ。ニカラ風ガ。ハゲシク。弓ノ。ニ。モ。カワイテ。カラ。ト。出
音ガ。鳴テ。持ヲスルニヨイ。時分ニ。持軍ガ。渭城ノ。獵。出ル

春時右雁萬里少行人 行カル。西域ノ地ハ春ノ間モ寒イニハ。不漸雁ヲ
見ルコトニ都テ見付テ。メト云ガ。コモツテアルカウナサムイ冬

敢覓和親 各物馬草ノ首。舊。名馬ヲ貢ニヒサヒ。蒲萄ノ。漢使ヲ逐カシラ。秋スル
和親ヲ。親類ニシラウナ手ヌルイ。中国ノ外關ヲウチメヤツミモ

送邢桂州 刑氏刑氏ノ巨ムカ合浦桂林郡ノ
太守ニツテ。行クヲ送ルデアアル

鑿吹喧京口風波下洞庭 太守カ通ラルエトトラヤ。吹物ナドヲ鳴シテ。宣シク。ニヤヤ
カニテ。今此京口ヨリ。舟ニリ。南方洞庭ヲ。来リコレテ

赭圻將赤岸擊汰復揚舲 西方ノ山見ニ。異國ノ陣屋ノアル赭圻ナトテ。見テ。通
ラレソコヨリ。赤岸山下ヲ。リ。オロミ。擊汰。ハ。カイヤ。以テ

鹿野園詩集 卷三

州枯鷹眼疾雪盡馬蹄輕忽過新豐市還歸細柳營回看射鵬

處千里暮雲平 鳥毛取リヨイラリフシ雪モキヘテアルニ馬ノ足モカロクカケマツツテコトクカ

面自イ獵ノシテ夕天ノ子間ヒノフカヘツテ長安ノ南ノ新豐ノ市ニヨツテ畫ヤスミラソシテ何ノ苦モ

ナク細柳營ノ夕天ノ子來タレバ早ヤ日暮合ニナツテ日獵ヲシタトコロヲフリ帰テミト遠

暮雲ガツテ一テモラカニ見ユルザアノ獵トイフモノハ面自イモノテ思ハス知ラズニ

遠イ処ニ來タモノカナト云フ義テアルノ射鵬ハ文字バカリヲ借リル

送張子尉南海

不擇南州尉高堂有老親 南海ハ人イヤガル処ニ常ノ者ナク行クマイケレドモ

樓臺重蜃氣邑里雜鮫人 南方ハカワツタ処テ海中樓臺ガ出來テ直ニ鮫

來テ網ヲ織テ度ルト云フ 海暗三山雨 吳都ノ賦ニアル通り南方ハ暑氣ノツヨイ

花明五嶺春 南方五嶺アタリハ春ノ 此鄉多寶玉慎勿厭清貧 珠カ外

寄左省杜拾遺 杜子美モ岑參モ同ク拾遺テ

聯步趨丹陛 朝參内スルヲリハ丹陛ノキタ 分曹限紫微 退朝スル時ハ左右省ノ

微ニカキラレテオ 曉隨天仗入暮惹御香歸 上ノ句ヲウケテ曉方參内スルヲ

青雲羨鳥飛 青雲ハ立身ノキノコトソコトモトカ

聖朝無闕事自覺諫書稀 仕合ガヨクナツテツカト鳥ノ

登總持閣 禁裡ノ近處

高閣逼諸天登臨近日邊 總持寺ノ閣へ上ツテミバツトタカク天へモ沖入テ

晴開萬井樹愁看五陵煙 井共町ハリノコトアルヨリ

檻外低秦嶺牕中 秦嶺モヒキクタレテ

早知清 早知清

小渭川 渭水ヲミレバハルカニ遠クチイサクニハテ

寺詩集 卷三

淨理常願奉金仙今ノ外ニホルニ付テ佛道ノ清淨ノ理ヲサトツテアラフナラバ佛ニツカヘテアラフモノヲ氣ノ付ヤウ

ガオソカッタハ
残念テアル

送劉評事文朔方判官賊得征馬嘶克ト云フハザキノモノガ役替テモスルカ死スルカニタ其アトヘラハ

義テアル朔方ノ都護ノ下役ノツテ行クトニユル

高適

征馬向邊州蕭蕭嘶未休征馬嘶ハ樂府題テ別ル馬ノアワレニテクト至意テ別離ノ情ヲ作りタテソノ人ヲ送ルノテアル判官ノ

乘テユクル征馬今朔方ノ向テユカル思深常帶別聲斷為兼秋人モ馬モ思ガ深クミテ全斷

別オビテユク馬声ノモノカナシク思ハルハタサハ悲シキ岐路風將遠關山月共愁テテカ

岐路ニソソテミレバ遠シカ將ニ何ホドアラフヤラ知レヌ贈君從此去何日大刀頭今

征馬嘶フ詩ニ作りユテラクルガソナタハヨリサラテイツ時分ニカヘラレテアラフ古樂府ニ何當大刀頭ノツテ還トハ通ズルユヘカハトイフコトニナル

送鄭侍御諳閣中

謫去君無恨閣中我舊過サテ此度閣中へ謫去セラルニ付テイカバカリカ氣ノ毒ニ思ハルテアラフガオレカモト通ツテミタカアリ替ツタ

大都秋雁少只是夜猿多閣中ハ七閣ニ云テ廣イコトテ秋ノ時

東路雲山合南カサレ

天瘴癘天ノ瘴癘ハ雲ノ一面ニテラガツテアル幽路ヲ通ツテ行クイカフ難義ニテモハソフガニカシ

自當逢雨露行矣慎風波追自都ニモカヘサルデアアラフホトニ苦ニヤル

自當逢雨露行矣慎風波追自都ニモカヘサルデアアラフホトニ苦ニヤル

使清夷軍入居庸清夷軍ト云フ從御用テ行キ居庸塞ト云關處ノアル處ヘ

匹馬行將夕征途去轉難伴フモノモナク匹馬ニソツテ毎日々々暮合マテス道中ヲシテ行ケハ行クホト難處ニ行キカツテ

邊地別紙訝客衣單邊塞ノ地ノ格別ニ寒イト云フヲ不知オレガ衣裳ノウス

溪冷泉聲苦山空木葉乾溪水ナドモ寒クミテ石ニアタツテユキツカヘテク

莫言關塞極雨雪尚漫漫清夷郡ニ

降下漫々トハテモナクミテ中々大テイテハ方々モテアナイ

自薊北歸薊北ヨリ敗軍ノ

驅馬薊門北北風邊馬哀 敗軍ノ逃足ノコトニ馬ヲ追立テ 薊門ノ北ヨリカヘルノデアアル 蒼茫遠山口

豁達胡天開コトハナラスト思テトリイソイテ馬ヲ追立テ出タレバ豁トオヒライイ夕処也

五將已深入前軍止半廻サテコノ冬ヒノ軍ノ負ケニ

誰憐不得意長劍獨歸來サニサニカヤウ

醉後贈張九旭張旭ハ酒ノミテ草書ヲヨク書テ風流ナモノギヤヨツテ

世上漫相識此翁殊不然高適ガ座キテ共々酒ヲノミテハナシラシカケルヤウニ

興來書自聖醉後語尤顛何ノ思フコトモナクト與ニ入テ草書ナドヲ書クト自然ニ

白髮老間事青雲在目前白髮友ニ

床頭一壺酒能更幾クセニイ

回眠不斷常佳トツクリニ酒ノ入テ床ヒニオカルガ幾

登兗州城樓杜子美ガ親ノ処ニ

東郡趨庭日南樓縱目兗州東郡ノ親ノ居ラルル処ニ趨庭ヒテ親ヲウヤマフ趨庭

初浮雲連海岱平野入青徐東海岱山ノ方ニ浮雲ガツキ連ツテ見書

孤嶂秦碑在荒城魯殿餘魯

從來多古ニヨツテ

意臨眺獨躊躇チヨット臨眺スルヤウデモ久ク躊躇メタチヤスラフテ居ル

房兵曹胡馬ハウハヤサウハ

胡馬大宛名鋒稜瘦骨成サテコノ馬ハ西域大宛國ヨリキタル処ノ名タカイ馬

竹批雙耳峻風入四蹄輕立テ竹ノソイ夕処ヲ見タテ峻ト云四蹄

名ウテアル

竹批雙耳峻風入四蹄輕

風ヲ生ジテ足ドリカヨクテ 所向無空濶 眞堪託死生 向ニ足カリノイヤウナ 処ヲ直ニ飛付テユクニヨツ

テ無空濶 テアル向ニ三三間ガハリトアイト空濶ナトコロカアルヤウニオモワルホドナ達者ノ馬チ

ナ驍騰有如此 萬里可橫行 實ニ如此足ツヨキ馬ニツテ万里ニ橫行シ何萬騎ノ

敵ヲモ自由自在ニリマワレテアラフチラバタニ

春宿左省 手前後処居テ 作タノテアル

花隱掖垣暮 啾啾棲鳥過 夕方左省ニ居テ垣ノワリニ花ノ咲タヲニホハシテ

戶動月傍九霄多 星ガ千門万戸ニツテキラク動キ月ハ天子ノ御座アル処九霄ニ

不寢聽金鑰 因

風想玉珂 夜ヒスガス寝スニ表テ御門ノ鑰ノ鳴ル音ヲ聞テ居テカキカナルト直ニ參内ス

明朝有封事 數問夜如何 明朝人ノ出ヌサキニ人ニ

知ラセズ天子ノ御諫

秦州雜詩 秦州ハ西北ノ方テ 雜詩ト云フハ澤山

鳳林戈未息 魚海路常難 世ノ乱ヲナゲイテイフ秦州ニアル鳳林関アタリモサハ

常ノ往來ハナラス 候火雲峰峻 懸軍幕井乾 毎夜々々山々ニレカケテアル処ノアイツ

經ヒトトリコヘシオリヲヒタヤウヲトコロテ山々ノ難処ヲウチコロレテ陣ドリヲレテアルニ三國ノトキ

鄧艾ガレタノテ道ノ無イ切岸ユヘ車モ馬モフラスケテ仰シ主卒ハテシク蒲團毛氈ナトヲ身

卷テコロゲオチル佐々内藏助カサラシ越ト云ヤウナ 風連西極動 月過北庭寒 連

將何時議築壇 ソニ付テモ此間居ル故老ノ功者モノ圧カ漢ノ李廣カ如キヨイ大將ガ

出テアラフナラズバコノヤウニヒスガサワクマイモノヲト飛將ヲ思イツカ

早フ都ニ於テ壇ヲ築イテヨイ大將ヲエラフト

送遠 コノ詩ハ三百モアリカラ 作テヤツタソウナ

帶甲滿天地 胡爲君遠行 今ノ世ハアソクモコノモヨイ武者ガミチワタツテアルカ

親朋盡一哭 鞍馬去孤城 トテモトマラズ鞍馬ニノツテ行カルユヘニ

草木歲月

晚關河霜雪清 今歲ノ晩デアルニサキヘ行レテイカフ難義ナラフアラフ。清ト云

別離已昨日因見古人情 ヤウヤク二兩日以前ニ別レタケレソナタラ。コレイト思フ

題玄武禪師屋壁 壁ニ墨画ガカイテアル

何年觀虎頭滿壁畫滄洲 座鋪中ノ壁ニ山水ヲエカイテアルガレカモ仙境ノ滄洲

海流 林ニウツロウテ見ヘ先ホテ朝日ノヤウニ思ハレテ江海ニ天カウツラトモク流ルヤウニ

錫飛常近鶴杯渡不驚鷓 玄武禪師ガカタワラフノ壁ニ鶴ガ書テアルガ近ク

似得廬山路真隨惠遠遊 思ハレ玄武禪師ハ惠遠法師ノ如キ人テコトサラ敬入

玉臺觀 滕王玄嬰ノタテ

浩劫因王造平臺訪古遊 浩劫ハ道書ノ文字デ、スツト世界ノ始ノ一ニナルガヒ

留 額ナドガ掛ケテアル魯ノ靈光殿ノ額ヲ恭毛ガ書レタミヨテ。借り用ルテアル

乾坤到十洲 カヤウノ道觀ニマン中ノ本尊ニハ天帝ヲタテソレヨリ。段々四方ノ神ヲ祭テア

人傳有笙鶴時過北山 人ノハナレキケバ。仙人ガ鶴ニ乘テ笛ヲ吹テ。コノ北山ノ頭リヲ過ルト云フガ。イカリマ

觀李固請司馬題山水圖 掛ケモノカ卷キモノニ

方丈渾連水天台總映雲 海上ノ仙境方丈六。渾連テ水ガクルリトトリハレテ。書

人間長見畫老去恨空聞 間ハ画テバカリ見テ居ル本ノ天台山ヲバ空ク。詩テ

范蠡舟偏小王喬鶴不羣 方丈ノ水中ニ小舟ガ一艘画イテアルガ。コレハイカサマ昔ノ范蠡ガ功成名遂テ身退ハ天ノ道也ト云

五湖二舟浮去去 テ五湖ニ舟ヲ浮ヘテ去タト云フガ。イカサマコレハ范蠡ガ舟テモアラフ。偏ノ字ニ画ノ一ヲキカ

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

セル天台ノカタワラニ鶴ガ一羽格別画テ
アルガイカサマコレハ五喬ガ鶴ガナアラフ
鶴ヤ范蠡ガ舟ナドニツテ行クナラバ方丈天台マデモ行カレマイモテモナイガ何ヲ云フテモ吾ガ
世界ハ万物ニシタガツテ塵氣ヲ出カ子テ井凡ニヨツテ中々仙境ニ到ルハナラヌ又墨アバカリニ
テ居ルヨリ外ノ
コトハナイデアアル

禹廟

禹ハ天下ヲカチマシテ世話ヲヤカレタニニ処々ニ廟ヲ
立テ祭テアルコレハ三巴アタリニアルト見ヘタ

禹廟空山裏秋風落日斜

竜蛇ハ孟子ノ文字掃袖書経禹貢ノ文字デアアルガ
モノサビレイ空山ノ内ニ禹王ノ祠ガ立テアツテ時節ハ秋

荒庭垂掃袖古屋畫龍蛇

廟ノカタワキノ処ノ壁ノ間ニ
スキノアル処ヨリ雲カチラク

雲氣生虛壁江聲走白沙

廟ノカタワキノ処ノ壁ノ間ニ
スキノアル処ヨリ雲カチラク

早知乘四載疏鑿控三巴

水ニハ舟陸ニ
ハ車泥ニハ

輜山六標此ノ四載ニ乗ジテ山河ノ世話ヲヤカレタ大功ヲトウカラ知テイル向フニ見ヘル処ノ三巴江京
水ガタマツテ泥ノヤウチツテラツタラ若土ヲホリサクツテタマシテアツタ水ヲ流シ出サレタデアアル

旅夜書懷

杜子美カ南方ニウロタヘテ居タ時分ニ
舟ニツテ居テヨモスガテノ景ヲ作ル

細柳微風岸危檣獨夜舟

前對テ云出スサテ此川岸ニ舟ヲツチイデカワバ夕暁
ヲミレバメロクト微風ガ草ヲ吹クヒクテ面白イカヤナ

星隨平野濶

風景ヲ舟ノ中ニタビヒトリ見テ居ルト云フハアサミレイ義デアアル危檣ト云フハ
帆ヲオロシテ柱バカリニヨイト立テアルユニ危檣ト云フタモノデアアル

月湧大江流

ル舟中ヨリ平野ノ方ヲ見グゾメニ面ニ星カキラクトトグワフリト
ラレヒラケテアツテ又月影ハ大江ノ水ト成ニナガルヤウニアツテ

名豈文章

ワガ境界ヲツククト思テミルニ名トイフモノハ文章ヲ上手ニ垂タトテ
アラハルモノデアモナイソウナワレモ人ニカウラ子成コノ通りニ浪人メ居ル

章著官因老病休

官人デアアルベキ身ナレバ
老病ニ官ヲヤメテ居ル

飄飄何所似天地一沙鷗

此ヤウナ不断常住ヒヨイトノ舟ニ
ノミテ居ルト云モノハ何ニ似タデア

船下夔州郭宿雨濕不得上岸別王十二判官

夔州ノ城下ノ外郭ワ
ヲノリオロシテ泊テ居ル

是非莫不義ト思テ留別ニ作テヤル

依沙宿舸船石瀨月娟娟

磯キハノ砂ノ上ハ大船ヲ推レアゲテトマツテ居ル船ノ
中カラソノアタリヲミレバ岸キハノ洲ノ出テアル水ノ浅イ

風起春燈亂江鳴夜雨懸

ワカニ大風ガ吹テキテ
燈ヲ消シサウニツツ

晨鐘雲外濕勝地石堂偏

城下ノ方テトキノ
鐘ヲツクク音ガ

柔艣輕鷗外含悽

覺汝賢夜アチカタニ見ル小舟カ輕鷗トツニ自由ニツテアリクカアノヤウアルカナラバ乗テ行テ王判官ニ逢テ來十ウニ何ヲ云フテモ大船ニツテ居テ自由ナラモナ

又ニ悽然トアレラ含デイカサテ小舟ト云モノハコリコウナモノデアルトイフナリ汝トハ柔艣ヲサス

登岳陽樓洞庭ノ岳陽樓ニテ懷テ

昔聞洞庭水今上岳陽樓昔洞庭風景ノヲハナシ聞テ居カガ今岳陽樓ニボツテ直ニ見テロム 吳楚東

南垓乾坤日夜浮イカサマ聞及夕ホドアツテ吳楚東南ノ方ニウチニライテクワラリト見テ乾坤ノ間ニアルトアラユルモノガ夜ニ晝トナク浮ニテニユル

親朋無一字老病有孤舟方々ヲナガムルニ付テ都ヲ思ヒ出メ久々此邊ニウロタテ居レ都ノ朋友トモノ方カラモ守ノ消息ニ通路ヲ

年老ハテタノシム處ノモノハタゞ此小舟バカリチカラニ居ルト云フハアサシイ 戎馬關山北

義デアル以上王仲宣ガ登樓賦ノ言ヲウケテ云フ 憑軒漱泗流今関山ノ北アタリモエビスビカサワイテ軍事ガタ々ニ付テ中々故郷歸ル上キ

次北固山下南方ノ北固山下ニ舟ニツテ來テトマツテ居ルデアル 王灣

客路青山外行舟綠水前舟中ヨリミレバ青山ノホトリ川岨通リニ客路ノ往來カ引ツツイデアル手前ハヤリ始終角ニリ此北固山ノホトリニ來テ

潮平兩岸澗風正一帆懸オリフ日暮マテフユニ潮カバイニチテキテ西傍ノ岸モグワラリト打ミライテニ風モオイテ出テアルユニ舟ノ帆モ

海日生殘夜江春入舊年以上ノ句名句デアルニツタス處ノ景ヲ云今テコノ北固山ノ下ヨリ東方ヲミレバダセツトキスキテ

達歸雁洛陽邊江南ノ替タフヲミルニツケテモ故郷ノヲヲ思ヒ出シテ狀文ヲヤラフモ外ニ便リモナイニ付テハ歸雁ノ洛陽ノ方ヘ飛フニアツラテヤリタイ

江南旅情楚國ヨリ吳國ヘ歸ル 祖詠

楚山不可極歸路但蕭條楚山極ムカラスバテレモカギリモナイ処ヲヒトリ吳國ヘカールユニ道スガフモ蕭條トモイサヒシアル 海

色晴看雨江聲夜聽潮海ノオモテヲミレバ近クハレテヲリナガラ遙ク遠ク雨ノ降テ通ルガミル又說ニ海色ガハレキツテヲリナガラ

近書寄北風遙ソガ腰サシテアル劍ハ南十ノ星ノ近ク逗留シテヨツテ都ヘ得 爲報

空潭橋無媒寄洛橋吳楚ノ間ニ橋抽ナドモタクサニ路バタモハテアル北方ノ都方

コレラドウゾ都ノ朋友ニヤリタイト思ヒテトリ次イテクル媒ガ

ナイハ残念ナシデアルトタヨリノレニタイヲナゲク

唐詩選 卷三

関月ヲノソテア聞ハニイヨクアワレニアル。笛ノ曲ニ関月トイフカアルヨツテソレヲオモイフタモ
アル声ガスミヒツテ風ニシタカツテ。胡ノ居ル方マテ声ヲホソウスケレテキコユルテアル
三奏高樓曉胡人掩淚歸。金瓶羽子ヲ金テコシラテ入ル。胡笳三度吹テ曉方
返リニテ
歸テアル

同王徵君洞庭有懷
王氏徵君ト云天子ヨリ召出サレタレ仕又徵君、紛スル
テアル此人ト共ニ洞庭テソシテ都ヲ戀フ思テ作ルテ

張譜

八月洞庭秋瀟湘水北流。八月ヨリ洞庭へ來テ秋ノ風景ヲミテ。洞庭ノ
南ニテ瀟湘ノ水ガ北流スルヤウ

里夢爲客五更愁。故郷ヲ戀レフ思フ故ニ毎夜々々家ニカヘルト。夢ニ見レドモ五更ノ
コトニサメテミレバヤリ旅客ノナリテ他國へウロタテテ居ル妻サへ

不用開書帙偏宜上酒樓。カヤウニ悲シイナリニハ中々書物
ヲミルタシハ行カメス。酒樓ガ

故人京洛滿何日復同遊。朋友ヲ思出シテ吾ガ親シイ故人ガ京洛
ニ滿テ居ルガ何レノ日カ都ニカヘツテ共々ニ

破山寺後禪院
破寺ノ奥ノ院
常建

清晨入古寺初日照高林。朝日ヨリカヨイニ朝トウカラ山テ古寺ノエワケ入テミル
朝日カヨイト出テ直ニ寺ノ高林ヲテラソモノフリタ

曲徑通幽處禪房花木深。後ノ禪院へ行ク処ノ地ナユ
ニ句對ナレコト上手藝キヤ禪院

山光悅鳥性潭影空人心。山ノ光ニ悦ビ鳥ノ性ニ潭影ノ空ニ人心
ニ對ナレコト上手藝キヤ禪院

萬籟此俱寂惟聞鐘磬音。萬ノ音ニ此ニ俱ニ寂シク惟ニ聞ク鐘磬ノ音

鐘磬ノ鳴ル音ノ殊勝ニ聞ユルテアル

渡揚子江。揚子江ハ直ニ海ニ近クテ川ハヤク
此方ノ八里ホドモアルト云

丁仙芝

桂楫中流望空波兩畔明。楚辭ヲ出シテ桂楫トイハスクニ舟ニ乘ミタテ手ニ
今ヨリ揚子江乗出シテ方々ヲミノゾメハアリアル

林開揚子驛山出潤州城。北ノ方ニシテツタ林ノ間カラ揚子
驛カミ山ヲウチコシテ潤州城ガミ

靜江寒朔吹生。靜ハ波ノ音ノナリテアラフマヘテイフ揚子江ハ直ニ海ニ
近イユニ海盡ト云邊地ノハテニテモ何ノサワヤモイ

更聞楓葉下。音ガシテ秋ノスアモイビシヤウマテアル

歷度秋聲。湖雁ハ風ノ木ノ葉トドニアタツテバラクト
鳴ル音カスナハチ秋聲トナツテ渡ル

唐詩選國字併
卷三
十一
揚子江

聞笛 張巡ハ玄宗ノ忠臣テ睢陽ノ太守ニテ居テ安祿山

岑巖 試一臨虜騎附城陰 岑巖ト高キヤグラエテ敵ノヤウスヲ見レバ云ス

不辨風塵色安知天地心 不辨風塵カ起ツテサハカシウソドウナリ

月近戰苦陳雲深 月近戰苦陳雲モチル間ガナイサウナ

更樓上遙聞橫笛音 更樓上ニ居テキケバハルカニ遠イ処デ横笛ヲ吹ク

岳陽晚景 張均カ戸部尚書タリシ方罪ヲ得テ饒州ヘ貶セ

晚景寒鴉集秋風旅雁歸 日モクシ及フ時分ニ鴉モソロソク子ガラヘ集ル時分

光浮日出霞彩映江飛 前ノ向ヲウケテ洞庭ヲミオロセバ夕日カヨコスキカイニサシテ水

洲白蘆花吐園红柿葉稀 秋風ノ向ヲウケテ洲ノミツ白ナ沙地ニ芦花カヒ

長沙卑濕地九月未成衣 長沙ハ暑氣ノツヨイ処

穆陵關北逢人歸漁陽 穆陵關ハ楚國ニツイタ地ノ名デアル北方ノ漁陽ニ

劉長卿 君ト云フハ題ノ人デ今コノ穆陵關ニ於テタメク其モトニ

楚國倉山古幽州白日寒 楚國倉山古幽州白日寒

城池百戰後老骨猶幾 城池百戰後老骨猶幾

家殘 家殘ト云フ者舊ノ家居ナドモノコリ少ナツテ大方ハアルマイ

掩淚看 掩淚看ニテ通ラルノラバシヤリニ愁ニタヘズ涙ヲ掩テミラルデアラフ

題松江驛 松江驛

山色遠含空蒼茫澤國東 山色遠含空蒼茫澤國東

張祐 張祐

唐詩選國字 卷三

唐詩選國字 卷三

唐詩選國字 卷三

イハ蒼茫、遠クハテモナクドモカシコモミナ
海明先見日江白、カハミ 迥聞風、ラコノ松

水海ノレウニミル水因デアール
リ東海ヲミラロスニ海ノオモテモハレヤカニアツテ日ノ出ルヤウスモマツ一番見
來ル江水モチカウミルガハ定テ風カ吹クサウナト思ヤルクライラユ、通聞クト云 鳥道高原

去人煙小徑通、ラ小路ヲオクフカク付テアル オクノ方ヲミレバ隱者住居ノヤウナ人ノ
家ガミユルガイカサマヲモ、シガサウナヤウスニミル 那知舊遺逸不在五湖中、中テモ五湖ノ中引コムモノカト

思フタガ此小徑ノヲクニモ居ラル、ラレイモノニ對シテアイウニ云フト見ユル 隱者

聖果寺、甚々繁昌大船付テアル 下ハ錢塘ト云テ、釋處默

路自中峰上盤回出薜蘿、チラコチラ曲ツテ向テアル 聖果寺上ルハ中峰ニテハアチコト道モワカレ

岸越山多、中ヲ通り又々ノ寺ニイタツテミレバ甚々風景ノヨイ処テアル 到江吳地盡隔

浸白波、ノカハ天ト水トガワツテ 白波ノタツヤウスナドガノコリナクミルコレタカキ処ヨリ

下方城郭近鐘磬雜笙歌、カウモアラフ 直ニソノモトハ錢塘ノ城郭般營処ニハ

鐘磬雜笙歌、トリニビテ吹クイトル迫ク開ユル寺ノ鐘磬ニ城郭ノ笙カハハハリー云一欵木知レカシナガラ鐘

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解 卷三

唐詩選國字解卷之四

齊南李攀龍編選

皇和南郭先生辯

門人林元圭錄

五言排律

五言排律ハリズムノ説カ多ケレバ排律ノ義テヨクイタトハ大名ノ供下リノ如ク
ヒイノ平ラニソロウタ男ヲモラニテ左右ニワカツカ排律アルソノ通リニスイシ堅イ
ウツクシイ文字ヲトリソレテ對ヲトラ子バトラ又ニ句或ハ四句ツニツコ
モ轉ビテユクヒノ四句ニテザレキノコヲ云ハ其下ノ句ハ亭主ノコヲ云テアル

送劉校書從軍

劉氏ノ校書ト云フ書役ノ官ニテ軍ニ
從テ邊塞ヘ行ラ送ルノテアル

楊炯

天將下三宮星門列五戎

對句ヲ以テ作り出ス天將ハ天ノ將軍ト云フ星ノコヲ用テ
スナハチ大將ノコトニナル三宮ハスナハチ三殿ト云如クテ天
子ノ御殿ノコトニル星門ハ天ノ星ニテソラヘテ軍門陣屋ノコトヲ云テ上ノ天將ト對ニテ五戎ト云ハ全
兵ノ義テコト矢支予支戟ヲモツタ兵モノコトモモツテアル先ツ出テ立ツヤウスヲ云フテ大將ガ
天子ノ御殿ヘ參内レ御イトラ申レテ
陣屋ヘ下リ入敷兵モラツ子ヲ用意ヲス

坐謀資廟略飛檄佇文雄

坐謀ハ陣屋
ニ坐メ大將ノ

謀ヲタスケルト云フテ廟畧ハ何ニツ天子ニ重イ大事ガ出來ルト大臣ナドガヨリ會見テ宗廟於テ
相談ガアルコトハ惣大將ノ謀コトニナル飛檄ハ檄文トテ軍中テ急ニ入用ナトキニ述
ノ身方ノモノ檄トイフ書ヲ以テ加勢ラヒヒソノ外急テコトヲ告ルコトガアルコトヲ云フヤウチ
フ意テ飛ノ字ヲツケタモノヤツトメカタノコトヲ云フサテソモトハ戰ヘ供ニ行キマツテモ軍

場へ出ス大将ノ側へ召サレテ居ナカラ。謀ラメクシテ大将ノ計ヲ資ケル。イカサハスグレタ義テ
アルチヲツト檄文ヲ書ト云ノテモ文章ノ達者ナモノデナケレハナラヌ。ニソコモトノヤウチ文
雄ヲ竹テ書セル。イデヤ書 赤土流星劍鳥號明月弓 軍装ノサカチヤウハ
記ノアイサツコレデス。云フ。華陰ト云フ。トコロノ

赤土ヲ以テ。又クヒタテ。及ノ流星ノヒカリヲミルヤウナ。劍ヲ帶シ鳥號ト 秋陰生蜀道
イフ明月ノヤウチ。弓ヲ持テユカル。流星ノ劍ノヤキ。及鳥號ハ弓ノ名デアル。 秋陰ガ生
殺氣繞湟中 サムイジアン殺氣ト云ハ。秋ハ殺伐ノ氣ナレ。ト云テハ。敵ニウチカフ。トコロノ

勝色ノ氣ガ湟中ト云フ。処ヲ繞ツテ。 風雨何年別琴樽此日同 今日ソコモト同
此方ノ師ノ勝テ。ル。ト云フ。ガ知レル。デアル。 離亭不可望。清水自西東 今ソコモト同
フ。彈テワカレル。カ。コ。後何ツ。テ。ノ。別。ニ。ナ。リ。テ。 離亭不可望。清水自西東 今ソコモト同
何。年。ノ。雨。風。ヲ。経。ル。テ。ア。ラ。ウ。ヤ。ラ。 離亭不可望。清水自西東 今ソコモト同

靈隱寺

コノ寺ハスグレタ名也。コノ詩ハ駱賓王カ坊主ニ
ナツテ宋之問カアトカラ来テ。作ツタトモ云フ

駱賓王

就鳥山領鬱鬱岩峩龍宮鎖寂寥 先ツ山カラ云ヒ出。就鳥山領鬱然トメ。岩峩上高
ト。人。ヲ。ト。モ。セ。ヌ。ヤ。ウ。ニ。ア。リ。以。下。ノ。八。句。ス。グ。樓。觀。滄。海。日。門。對。浙。江。潮。樓。カ。ラ。公。直。ニ
レ。タ。コ。ト。ノ。ミ。ヲ。ト。リ。出。ノ。境。地。ヲ。ホ。メ。ル。樓。觀。滄。海。日。門。對。浙。江。潮。樓。カ。ラ。公。直。ニ

日ヲミル。ハ。ウ。ス。門。ハ。浙。江。ノ。潮。ニ。向。ヒ。 桂子月中落。天香雲外飄。ヨモスカラ。月。ガ。ホ。カ
ア。ラ。ア。ル。ヤ。ウ。チ。ニ。ヨ。ツ。テ。對。ス。ト。モ。云。フ。 桂子月中落。天香雲外飄。ヨモスカラ。月。ガ。ホ。カ
ラ。カ。ニ。ア。ツ。テ。月。中。ヨ

リ。桂子ガ。ラ。チ。テ。ン。ノ。香。イ。ガ。雲。ノ。ホ。ト。リ。ニ。デ。モ。ヒ。ル。ガ。ヘ。リ。香。フ。ト。庭。ニ。ホ。ノ。實。ナ。ド。ノ
ヲ。ツ。ル。ヲ。見。テ。云。昔。天。隱。寺。ニ。桂。子。ガ。ラ。チ。タ。ト。イ。フ。カ。實。ノ。コ。ト。テ。ア。ル。 門。羅。登。塔

遠剝木取泉遙 山ノタカク。遠イトコロ。塔ガ。建テ。アル。ヲ。蘿。ニ。ト。リ。ツ。イ。テ。ノ。ホ。ル。霜。薄
花更發。水輕葉互凋 霜カ。ウ。ス。イ。ニ。ヨ。ツ。テ。花。カ。カ。ク。ク。ス。キ。ク。ス。ル。水。モ。キ。ビ。シ。ク。凋。落
尚遐異。披對滌煩囂 ソレ。ワ。カ。イ。ト。キ。ヨ。リ。カ。ナ。ウ。ナ。趣。異。ノ。世。ヲ。ハ。ナ。レ。タ。知。ラ。オ。モ。シ。ロ。フ。思。フ
器品ノ。ホ。ン。ク。マ。ラ。ン。ス。リ。ト。滌。ヒ。流。シ。タ。ヤ。ウ。ニ。 待入天台路。看余渡石橋。老僧ナド。ニ
ナ。ツ。テ。ト。モ。ト。モ。ナ。フ。菩。提。心。ガ。ツ。ツ。テ。キ。タ。ト。 待入天台路。看余渡石橋。老僧ナド。ニ

マ。タ。コ。ノ。ヨ。ウ。ナ。タ。ン。テ。ハ。テ。イ。追。付。仙。術。ヲ。エ。テ。天。台。山。ノ。ミ。チ。ヲ。ミ。ツ。ク。テ。石。橋。ノ。危。キ
処。ヲ。ワ。タ。ツ。テ。オ。メ。ニ。カ。ケ。ヤ。ウ。天。隱。寺。ノ。ス。ク。シ。タ。ニ。ツ。イ。テ。天。台。山。マ。テ。ユ。ク。ノ。氣。ガ。ツ。イ。タ

病温城望軍營 通リカ。ツ。テ。軍。營。ノ。サ。カ。ニ。ナ。テ。 見テ。作。ツ。タ。ノ。テ。ア。ル

虜地寒膠折邊城夜柝聞 虜ノ。ミ。カ。ワ。イ。テ。北。狄。ノ。ヒ。タ。モ。ノ。ウ。チ。入。ル。シ。テ。五。夜。柝
ノ。軍。營。デ。モ。ミ。ナ。夜。マ。ワ。リ。ノ。柝。子。ホ。フ。キ。ビ。シ。ク。擊。テ。油

善惡大將入。カ。リ。テ。何。シ。事。ガ。出。來。ル。ト。天。策 塞靜胡笳徹。沙明楚練分
星。ニ。テ。ガ。動。ス。ル。ト。云。フ。ス。レ。バ。重。イ。義。デ。ア。ル。 塞靜胡笳徹。沙明楚練分

大将ノ。下。知。ヨ。イ。ニ。ヨ。ツ。テ。ヨ。モ。ス。カ。ラ。陣。屋。ノ。ヒ。ツ。ツ。リ。ト。シ。テ。ア。ル。ユ。ニ。胡。笳。ナ。ド。モ。通。リ。タ。ク。テ。キ。コ。ニ。ル。
沙。ハ。ラ。ニ。陣。ト。リ。ヲ。ノ。居。ル。ニ。沙。ノ。白。イ。ト。兵。ド。モ。ノ。キ。テ。イ。ル。衣。裳。ノ。白。イ。ト。ガ。ハ。ツ。キ。ロ。ト。ミ。分。ツ。テ。ア。ル

南洛師臣契東巖王佐居 モノトハチコウニ天子モ師如ク交リラボレヌ契ハ

上乃ナウヲ云フ。方ハ東山引コシテイナカラ。幽情遺綬冕宸眷囑熊魚 天子ノ補佐モ同前トモノゾアル

制下峒山譚恩回瀾水輿 ナサルバ山中ニ幽情カ生セラレテ天子貴キ御冠御裝束ヲモ御ワスレササヒテソノアタリノ熊魚トイハキモ多ク御覽アル

洛東瀾水ノホト 松門駐旌蓋薜幄引簪裾 山テイニレノ黄帝ノ黃成子ニミチヲ問ハヒタカアルニヨツテコノモチニ及モノヲヤ天子ヨリモウ御供ニワリソノロノセイト仰ヒ付ラガアル嗣立ラバ格別ニラボレヌ天子モ御輿ヲメクラサル

幕ヲ分ニワシテ置イテ大勢ノ官人タチヲ塞内シテ輿ノ方ハ引テユク 石磴平黃陸 ヤ旌ナドカ松ノ間ニ立テイルニヨツテトムト云フ坐レキギハノツタノアル処ラ。スグニ

烟樓半紫虛 雲霞仙路近琴酒浴塵疎 暮ヲ分ニワシテ置イテ大勢ノ官人タチヲ塞内シテ輿ノ方ハ引テユク

半御坐処モク 雲霞仙路近琴酒浴塵疎 同前ダ

高木千齡外懸泉百丈餘 以下屋レキノ古イコトヲ云フ先祖

崖深經鍊藥古藏書 以下屋レキノ古イコトヲ云フ先祖

掛宿搏風鳥池潛縱壑魚 大木ナドカ生ヘ茂テアルニ大鳥ナドカスイノウニ

寧知天子貴尚憶武侯廬 結句ハ嗣立カ御恩ヲフカクカウムルヲ云蜀ノ先帝

白帝城懷古 後漢ノ光武帝ノトキニ公孫述カ蜀ノ成都ニミヤコシテ白帝ト稱シタ

日落滄江颯停橈問土風 スナハチ上凡クノベテ云白帝城カラ直ニ見ラロス処カ

城臨巴子國臺沒漢王宮 イニレハ春秋ノトキ巴子カモツタ國テカタワラニム

荒服仍周甸 カレ劉玄德ノ吳ヨリ放軍シテ帰ラテ魚腹縣ヲアラタメテ永安ト名ツ

深山尚禹功 見ワタス処ヲ云フ今荒服ノ如クナツテアル処ガ周ノ都ニテアルト云アリ

懷古巖懸青壁斷地險碧流通 ナ向ラウケテ并通リノ山ヲ見テ云フ深山ヲ

古木生雲際歸帆出霧中 ナ向ラウケテ并通リノ山ヲ見テ云フ深山ヲ

古木生雲際歸帆出霧中 ナ向ラウケテ并通リノ山ヲ見テ云フ深山ヲ

古木生雲際歸帆出霧中 ナ向ラウケテ并通リノ山ヲ見テ云フ深山ヲ

古木生雲際歸帆出霧中 ナ向ラウケテ并通リノ山ヲ見テ云フ深山ヲ

古木生雲際歸帆出霧中 ナ向ラウケテ并通リノ山ヲ見テ云フ深山ヲ

カッテ古木モ雲ノ中在ジテアルヤウニ川中モ霧ガ下リテマツクラニテアル処ヲ舟ニ乗テカハ
川途去無限客思坐何窮
ウ水ガ早イニヨツテマツクラノ中ヲトコト云フゾドナニ乗テ行キ客中ノ
思ヒモマサマ生スレドモキワメテ思ヒトメルモナイデア
ル

峴山懷古

秣馬臨荒甸登高覽舊都
屬兵秣馬トテ左傳ノ文字テアル峴山ハ關及夕
処ニ夜中カラシタクシテ朝トク峴山ニボリ古ハ

繁昌ナリデアリツラフト都ノアトヲミゾムカレ昔ノ羊祐ガ襄陽ヲ鎮テ峴山ニアソコト
ヲ多シシテ民ヲ思フ惠澤ノ深イ人ニ羊祐ガ死又ト峴山ニ碑ヲ立テコレヲミルモノ淚ヲナガシ
ノ全ニ杜預ガ隋漢ノ碑トナツアタ碑ハ平字ニ碣トライタモノヂヤ碑ト同シ
トヂヤ今ユノ峴山ニボツテ墮淚ノ碑ヲヨシシバヤリ古ク又ラスカシク思ハル

碣尚想臥龍圖
孔明ガ隱レ居タ隆中ヲ見ノグジュニテ孔明ガ
八陣ヲ石ヲ以テ圖シテミタト云フヲ思出
城邑遙分楚

山川半入吳丘陵徒自出賢聖幾凋枯
入コシデアルタル城邑ハ地勢ノ險固
賢者ノ塚モミハ凋枯ハ死ニテレマフタト云フ義デア
野樹蒼烟斷津

樓晚氣孤誰知萬里客懷古正踟躕
野ハ樹木ナドガミヘルガ蒼烟斷
カミルカハカレリノ家モタクサニアツタテアラスカ今ハ冬ニツナレノ樓ガアルノミ
ガヤワレ萬里ノ遠キヨリキテ古ノヲオモフテ踟躕ソイルト云フヲタレモルミ

贈蘓味道
味道北狄ノ方ノ番手ニ行テ
居ルニヲクルノアル

北地寒應苦南城戍不歸
ラ今ノモト北地ノ行テイルルトコニサフサムフテナシキナ
トデアラス都ハルトモナラスツトイテイルル上ハ

邊聲亂羌笛朔氣捲戎衣
起句ノ苦ノ字ヲウケテ
コノカミイシイテ女塞ノ

雨雪關山暗風霜
胡トモカドコテモカレテモ笛ヲ吹フ吹フフキマクツアイヨクサムカラフ
北風カハケシク吹テヨロイナドヲフキマクツアイヨクサムカラフ

雨雪關山暗風霜
胡兵
艸木稀
雨雪モヒタモノ降テ關山アタリモクモリワタルテ暗ク風霜ノ強イニ艸木
ノトモハラニアルコレニテ第一句ノウケテ云ヒ以下ハナクサメ云フ

戰欲盡漢卒尚重圍
ル兵居ガ胡ヲ打カコニテコノ方ノヨハミハミヘヌ
コトニ馬モ肥テ達者テルニテユハカケマワリニモヨカ

雲淨妖星落秋高塞馬肥
コトニ馬モ肥テ達者テルニテユハカケマワリニモヨカ
鞍ヨシテ太刀ヲフリマワレザツコキニヨイテ

據鞍雄劔動搖筆羽書飛
アラフソモトハ文章ノ達者ニイカク軍中ノ
調法テラ
輿駕還京邑明遊滿帝畿
大將ノ輿人數ヲコトヘテ京カヘラルハ
ルキテアル

方期來獻凱歌舞共春暉
今カラ預メ期テイル來春首尾ヨクカレテ凱
陣ノ歌ヲ獻シテ天子ヨリ御酒宴ヲ下カレタラ

六
五
萬
山
第
百

唐詩選

卷百

五

萬山

第

百

酬蘇員外味玄夏晚寓直省中見贈同後ノ郎官女六月ノ末天子ノ

酬シセキ 沈佺期トイ番イテ詩ヲ作テコレタ

並命登仙閣通宵直禮闈員外ハ尚書省ニ属シテ神仙門ノ内ナリ故ニ仙閣ト云フ崇礼門ハ尚書下舎ノ門ナルニ礼闈ト云フ

膳侍史護朝衣官ノ一ニ女官ガ二人ハ明朝參内ノ朝衣ニ飾羅ヲトヲタキコメ守 大官供病キウシ

護卷幔天河入開窻月露微役処ノ景ヲ云フ幔ヲマクト直天河カサシム

小池殘暑退高樹蚤涼歸夏晚ノコトニ暑氣ヲリゾキスシク

冠劍無時釋軒車待漏飛公用ノレケイ役処ニ裝束ヲトクニモナ

明朝題漢柱三署有光輝漢ノ田鳳ガ郎官ヲツトメシトキ容儀端

張京兆即トホメラレタガアル明朝ノモト參内セラレ器量スケレタニ格別天子ノ御目

同韋舍人早朝ニ夜アケノコト云フ

閶闔連雲起巖廊拂霧開夜カ明メケレト禁裡ノ表御門雲連テ高ク起テアルカニ廊下

宵鐘盡明光曉奏催長樂宮ノ鐘ノカニ夜ノウチニツク鐘モツキニシテ夕ニ明光殿ニ奏

經傳舊德五字擢英材以下ニ句テ字又ヲホメルコトハ親ノ旧徳ヲ

儼若神仙去紛從霄漢回儼ニシテリツハナコトヤヤ神

千春奉休曆分禁旨趨陪千春トモニカヤウナケウウチ御世ニ奉シツ

仙ノサツテヒラリト宵漢ヨリ下ルゴトク凡骨ノヌケ通ルウチルニイフスル人テアルハ紛ハヒシ

トゴフユ一分禁トイフ

トゴフユ一分禁トイフ

トゴフユ一分禁トイフ

トゴフユ一分禁トイフ

トゴフユ一分禁トイフ

唐詩選國字解 卷四 六 嵩山 房

奉和幸長安故城未央宮應制
三月三十日ノ御幸ナリ。漢ノ都ノアト未
央宮ノアツタ処ハ長安ヨリハスコ北三

ツテアル御幸ノ
作ヲ和スルナリ

宋之問

漢王未息戰蕭相乃營宮
漢ノ高祖ノ戰ヲヤメス自身征伐出ラセテ
アトテ蕭何ガ未央宮ヲツクツタ

一朝盡威靈千載空
壯麗ニナケル威ガカレトテ。リツハニ作リタテタ。殿閣モ朝
トキハテ。スグレタル処ノ威灵モ年ヲヘテアトカタモナクナリテ

皇明帳前跡置酒宴羣公
皇徳ノアキラカナ天子ノコノ処ノ行幸アツテムカレ
ノアトヲランナサレサテモハカナイコト。帳ミラボレメ

寒輕綵仗外春發幔城中
天子ノ行幸ニ寒
モウスクアタカニ思ハル。綵仗

樂思廻斜日歌詞繼大風
廻斜日ハ淮南子ノ故事。大風
モタノレフヲボシメス御酒宴ニ

今朝天子貴不假叔孫通
天子ニナラレタニ朝儀カ治メ
ラレテ叔孫通ガ朝儀ヲ起シタト云フガ今ノ天子ニライテハモトヨリ貴クニ叔孫通カヤウナ

今朝天子貴不假叔孫通
天子ニナラレタニ朝儀カ治メ
ラレテ叔孫通ガ朝儀ヲ起シタト云フガ今ノ天子ニライテハモトヨリ貴クニ叔孫通カヤウナ

奉和晦日幸昆明池應制
世說モアル通り正月晦日
ノ行幸ナリ

春豫靈池會滄波帳殿開
春ノ行幸ニ春豫ト云フ。靈池トハホメタ言ハテアル
春昆明池ニ御幸ナサレニツイテ。池ノ滄波ニノミ

舟凌石鯨度槎拂斗牛廻
武帝ノトキニ池ニ石鯨ヲコレラヘタガ
アル御座舟ヲ押シテ通ル同ジ

節晦賞全落春遲柳暗催
莫州ハトケイノヤウナ州デ。堯ノトキニ生ジタ棠
ヲホメルドニナル莫ハ朔日ヨリ一葉ツ、生メ十六日カ

象溟看浴景燒却辨沈灰
象溟ハ溟ハ溟ト云フ。浴景ハアサ日ノ海水ニ沐浴ス
ルヤウニ出ルヲ云フ。コノ池ニ日影ノウツルヲ見テ浴景ト云テアル。池ノ深イハ三ハノ燒ケ灰ヲ武

不愁明月盡自有夜
不愁明月盡自有夜

唐詩集卷之四
奉和

唐詩集卷之四
奉和

唐詩集卷之四
奉和

唐詩集卷之四
奉和

唐詩集卷之四
奉和

唐詩集卷之四
奉和

唐詩集卷之四
奉和

珠來 今日ハメツラレイ御游興デコトニ夜ニ入ルテ還御ナラヌ今宵ハ晦日ノ一月ガナケレドモソレモ苦勞ニナラズ大方魚ハ明月ノ珠ヲフクシテ來ルデアラフ。昆明池ノ魚ガ武帝ニ珠ヲ獻ジタ故

和姚給事寓直之作 御史ヨリ給事ニナツタト見ユル

清論滿朝陽高才拜夕郎 判ユ高オヲ以テモラヒ出サレ郎官ニ仰付ラレタ。日暮

入對青瑣門拜還從避馬路來接理貂行 ソコモトハ八ニ馬ヲサケラル処ノ御史ノ役ヨリ來テ御近処ニキリ貂ヲサニ

寵就黃扉日威廻白簡霜 ハカム給事ノナニニ入ラレタノ後漢ノ桓典ガ故事ナリ。霜ノ如クナル威勢ガ廻テ何テモラソレタ

柏臺遷鳥茂蘭署得人芳 鳥ノ故事ヲモチコシタ郎官ノ役処蘭署モソノ禁靜鐘初徹更疎漏更長

禁靜鐘初徹更疎漏更長 鳥ノ故事ヲモチコシタ郎官ノ役処蘭署モソノ禁靜鐘初徹更疎漏更長

曉河低武庫流火 曉方ソラヲミレバ禁裡ノ西南ノ方ニアル武庫ノ方ニ天河カ低レシ

重乘秋藻翰揚 寓直ノナツスモソコトノ番ヲレテイラルハユニ人モカクベシ思ヒノ乘秋

暗投空欲報下調不成章 章ノ一ナカラモ鳥ノ向ク飛上レ暗投空欲報下調不成章

早發始興江口至虛氏村作 早發始興江口至虛氏村作

候曉踰閩嶂乘春望越臺 候曉夜ノ明ルヲ見合セシニ閩山ヲコヘテ越ノ方ニ宿

雲鵬際落殘月蚌中開 鵬際トハ莊子ニ北溟有魚其名爲鯢化而爲鳥其名爲鵬

碎荔搖青氣枕柳驚碧 碎荔搖青氣枕柳驚碧

抱葉玄猿嘯銜化翡翠來 抱葉玄猿嘯銜化翡翠來

露高哀石響細泉回 露高哀石響細泉回

桂香多 桂香多

南 南

唐詩選國字解 唐詩選國字解

卷四 卷四

嵩山房 嵩山房

中雖可悅北思日悠哉

カヤウナフモロイキヲ。雖可悅ヲモロフナイハナヒナハ都ヲ

長真髮戩成素丹心已作灰

思フ。北思カ日ハルカニナツテ。ハルト云フ。知リスユニテ

何當首歸路行翦故園萊

灰トツリ合テアル。何當首歸路都ニ歸テアラフ

謝眺ガ詩ニ方同勝戰者去翦北山萊トアリ

同餞楊將軍兼原州都督御史中丞

フタモノチヤ。楊將軍力原州都督

御史中丞トヲ兼テ西域ノ

蘇頌

右地接龜沙中朝任虎牙

ヲヨソ人南面スルトモハ。西ハ右ニテタルソモトノユサル右地

然明方改俗去病不爲家

然明方改俗去病不爲家

禮登壇盛軍容出塞華

誰ガミテモ華。朔風搖漢鼓邊月思胡笳

胡笳ヲキカルテアラフ。旗合無邀正冠危有觸邪

當看勞旋日及此御清花

奉和聖製途經華嶽

西嶽鎮皇京中峰入太清

玉鑿重嶺應綈騎薄雲迎

白日懸高掌寒空映削成

軒遊會神處漢幸望仙情

先手カウス雲ヲワケ

削成上有五崖比壑破獸而連自下表望如掌

○寒空ト云ハツラノ暗レキツターテ削成ニ映ヒバキリトスル

△カシノ山テ黄帝軒轅氏ノ神仙ニ會セラレタ処テ漢ノ武帝ノコノ山ニ行幸シテ高臺ヲタテ

神仙ヲソレタ情モ今日天子ノ思召モ同レテアルト△カシノ山ニ行幸シテ今日天子ノ思召

張說

唐詩選解

舊廟青林古新碑綠字生

青林中山神廟祭於此舊廟在石壁下

解註方羣臣願封代駕勸鴻名

羣臣願封代駕勸鴻名

名ヲシテカエリタイノト天子ヲオス

奉和聖製製早度蒲關

四字天子ノ題テ蒲關ハ

張九齡

魏武中流處軒皇問道迴

魏武中流處軒皇問道迴

御カノナサル毛ナレ古黄帝軒轅氏ノ廣成

長堤春樹發高掌曙雲開

度人占仙氣來

度人占仙氣來

來ラレテ紫氣ノ立テ

河津會日月天仗俊風雷

河津會日月天仗俊風雷

見テ知タト此レテ云フ

東顧重關盡西馳萬國陪

東顧重關盡西馳萬國陪

スルニ月カナ

還聞股肱郡元首咏康哉

還聞股肱郡元首咏康哉

大御迎ニ出ルイカサマ

如ク大事ニ思召ス処ナレ

明哉股肱良哉庶

事康哉トナリ

和許給事直夜簡諸公

和許給事直夜簡諸公

未央鐘漏晚仙宇靄沈沈

未央鐘漏晚仙宇靄沈沈

ラク沈々トオク

武衛千廬合嚴扃萬戸深

武衛千廬合嚴扃萬戸深

フカク見ユル

左掖知天近南窻見月

左掖知天近南窻見月

ニ合スト云フ扃ハ萬戸ニキツト番ラレテイテ非常ノモノ

樹揺金掌露庭接玉樓陰

樹揺金掌露庭接玉樓陰

他日聞更直中宵屬

他日聞更直中宵屬

所欽

所欽

寶夙夜侍臣心

寶夙夜侍臣心

寶夙夜侍臣心

寶夙夜侍臣心

寶夙夜侍臣心

寶夙夜侍臣心

逸興乘高閣雄飛在禁林
逸興ニ乗レテ高閣ニ登リ詩ヲ作テヨコサ
レタガ今禁裡ニ寓直シテイル中モソコトニ

先達テ飛フモノハアルニイタレテモソコトニツクモノハナイ
トイフハ男鳥ノ女鳥ニ先達テ飛フ意テアル
雄飛 寧思竊抃者情發爲

知音
吾レモトヨリ詩ヲ作ル氣モナクツタガソコトノスクレタ詩ヲ見テ思ハスレラズニ和スル情ノ
一発スルハソコモトノ詩ヲヨコフモノガアルカ何ントドフ思ヤルソ寧思ヤトカヘツテミ子バナラ

又ノ竊抃ト云フハ樂ノコトナレ此ノ方ノ小語ヲヨクウタフモク近地ニ居テキクトキニ手前ニ心覺ヘ
ノアルモノハテモレロイ処ニエクト思ハスレラズニ手拍子ヲウツヤウナカ竊抃テアルノ知音ハ鐘子相伯

雅ガ故事テアツテ琴ノ音ヲ
キニル音樂ノ上ニツイタノナリ

酬趙二侍御史西軍贈兩省舊寮之作
西軍ノ大将テツツアテ舊寮
トイハモトノ相役テ九齡モ同

石室先鳴者金門待制同
石室ハ天子ノ秘書ヲラガメテアカル蔵テ學者ノ集
ル処テアルノ先鳴ハ左傳ニアル通り雞ノ蹠合ニ勝ツタ

方ガ先キニ鳴ハジメルトノサテ石室テ大勢集テイル中モ人ニ先立テ鳴出シタハソナチヤ
金馬門ニ天子ノ詔ヲ待テ同レク及第ヲシタモノユヘソナチヤ器量ノスクレタヲヨク知テイル

刀常願割持斧竟稱雄
操刀割トイフハ黃帝ノ言ヲ述テ民ヲ治ルノ手レモトヨリ
オノスクレタ人ユヘ刀ヲ操テ何ソ下ツムツカレイ治メニクイ

應敵兵初起綠邊虜欲空
應敵
トイハ

使車經隴月征旆繞河
隴ハロウケツトイハ
トイハ

忽枉兼金訊非徒秣馬功
忽トイハ
トイハ

氣清蒲海曲聲滿柏臺中
蒲海ノ聲ノ満テ
リソノ名ノキコヘモ柏臺アタリニ滿テアツタ

顧已塵華省欣君震遠戎
顧ニシテ
トイハ

明時獨匪報常欲退微躬
明時ニ
トイハ

奉和聖製送尚書燕國公說赴朔方軍
大臣燕國公張說カ朔方ノ
軍ニ赴カルニツイテ天子ヨリ

宗臣事有征廟算在休兵
宗臣ノ事ニ
トイハ

御直ニ送別ノ詩ヲ被下ソレテ和シ

下セイト詔アリテ和スルナリ

宗臣事有征廟算在休兵

廟算於テ御儀式ノ上テ仰付ラルニヨツテ廟算ハハカリ

唐詩選解 卷之四

一ノリ、宗臣ハノ大臣ト云意ハ、鎮リニクイ朔方ニ大臣ノ征伐ヲ事トセラレハ、天與三台座

入當萬里城、大臣ト云ハ天ニ於テハ三台ノ事ノ上テハ三公ニ當テ、甚々重イテ、ソノ人ト

一、湖南方、湖南ニカレテ、直ニシツマリ、兵革ヲノ 寵賜從仙禁光華出帝京、ソレニ天子ヨリモ格別イロクノ

揚ラレタラ忽チ、乱モ 寵賜從仙禁光華出帝京、賜ヲ下サレソノ上ニ御製作ヲ

下リ花ヤカナ、都ヲ出テユカル、 山川華遠略原隰、山川ノ遠イ処ニテ、謀ラメグラレ勤

ノクテ、天子ノ公ナル皇情ヲメクラヒテ、今ソコモトヲツカハサレルノ、 爲奏薰琴倡仍題珣劍名、ソレモ今ソコモトノ名ニ南風ノ詩ヲ音頭ヲトリテ

トルノリヨツテ、ソノヒモ天子ヨリ、ケツコウナ 聞風六郡勇計日五戎平、名ヲカキツケテ下サレ、肅宗ノセラレタナリ

トハ先ノ一ヲ云フ、サキニイル、処ノ六郡ノ武士、ハソコモトノ家風ヲキイテ、ヨロシイサテ、マナクテ

テイルコフシタ勢、ヒノヨイナレバ、日ヲ計ヘテ、追付夷トモガ平ラグテ、アヒラフ

山甫歸應疾留侯功復成、仲山甫ハ周ノ宣王ノ大臣ニ、張説、元ト云フ、上ノ句ヲ

テアラフ、張良ガ如ク 歌鐘旋可望枕席、枕席、豈難行、

追付ノゾミ見ルテアラフ、今、四牡何時入吾君聽履聲、

夕、ミノヒ、四牡何時入吾君聽履聲、

奉和聖制、奉和聖制、暮春送朝集使歸郡應制、

胥ノ御儀式ニ逢フテ、婦人、萬國仰宗周、

古ノ諸侯ニ比レテ、天子ノ御製作カアル付テ、萬國仰宗周、

萬國仰宗周、春秋ノジブンノヤウニ云ヒカケル、玉乘迎大客、

世ヲ貴ヒキツト、衣冠束帶テ、祖席傾三省、

御衣ヲメレテ、拜三ニ來ルニヨツテ、祖席傾三省、

迎ヘナラシカヘラル、六金ノ節施ラ下サレ、楊花飛上路、

筋モハテ、歸ラル、分漢主憂、

イテハ、分漢主憂、滿中州、

ナイ大ナル幾ト、手前ノ詩ハ
和作ニ天子ヲホメテ云フ

送李太守赴上洛

李氏カ上洛郡ノ太守ニ
ナツテ、行クヲ送ルナリ

商山包楚鄧積翠藹沈沈
鄧ノ間ト春ノ一ニ山カ昔々トノ藹々トオク
ラク沈々トオクフカイ一ト何
驛路飛泉灑關門落照深
山路ヲノホツテニカ
ホドツイテアルコトヲラレシヌ

カラ飛泉ナトカクギテチノ落照ノヲリハ関門ニイラル、ナラバ
サツサヒシイ一トアラフ、深ノ字ニ氣ヲツケテミルガヨイ
野花開古成行客

郷音空林
ソモトノユカル、役処山ヲクニアルニソノアタリニアル荒レテ夕、番手屋シキナ
ト野花ノナトモ名ノレシヌ、花ナトカ咲テアルア、行客ノ足音カ人カケモノ

板屋春多雨山城晝欲陰
オク少家ナトモ板屋根ニシテ
イ空林ニヒイテモ、
サヒレイ海道デ

丹泉通號略白羽抵荆岑
丹泉ハ川ノ名デ
レイニヨツテ多シト云フ山城ニ
晝モ雲ガ掩テテ、ウスキモツテアリ

若見西山爽應知黃綺心
西山ハ即商山
ノ方ニ通テアル又白羽山ナド、イフ高イ
山ガ楚國ノ荆山ノ方ニタレテアル

夕景色ヲミラレタアラバ古商隱イタ四皓ノ心ノ高イツモ、レラレテチ
アラフ、奉行ナドハ山ヲミル隙ノアルヲヨイトスルニカクテヤルナリ

送秘書晁監還日本

晁監ハ阿陪仲磨ガ子デ、玄宗ノトキ
秘書監ヲシテ、日本カヘラテ送ルナリ

積水不可極安知滄海東
積水ハ海ナリ、海トイフモノハト云テモツ、イハハテ
モナイニ、不可極ト云フ、滄海ノ東ニナニガアルト云

九州何處遠萬里若乘空
九州ノ
内テアラフ、凡何ホド遠イヤラレシヌ、メツ
向國惟看日歸帆但信風
日ノ出ル

向國惟看日歸帆但信風
日ノ出ル
目アテニノ行ト云フ、カカハルト云フテモイソク一モノナラズ、
トミル一モノナラス、風レタイテ、風ヲタノミ行云モノテアル

敖魚身映天黑魚眼射波紅
海中ニ敖魚ノ舟ヲ吞ミソフナ、大魚ナトガトキ、ウカシテ、天ニ映ノ、ツ黒ミ、魚眼ノヒカリカ、
波ヲ射テ、紅ニ見ユルソノヤウナ処ヲ通テユカル、一云フモノハ、イフナニキナトテアラフ

鄉國扶桑外主人孤島中
ソモトノ國ハ日ノ出ルニ近イ一云フニヨツテ、扶桑ノ木
ノ近処テアラフ、子タノ主人孤島ノ中テノ天子ユ

別離方異域音信若爲通
異域ニワ
ソモト中國カラカヘリ大キナ一バカリ
ミタ目テハ、サゾキウクツニアラフ

別離方異域音信若爲通
異域ニワ
ソモト中國カラカヘリ大キナ一バカリ
ミタ目テハ、サゾキウクツニアラフ

送儲邕之武昌

李自江夏ニアルトキヤリ、江ニ臨テ
月ヲミルワカルニツイテ思出シテ作ル
李太白

黃鶴西樓月長江萬里情
今ソモトノユカルニツイテ、リレモ共ニ行テ武昌黃
雀樓ノ月ヲ見タイト思ヒ出シ、長江ニソノ
情サゾラモ
春風三十度空憶武昌城
ユキタイト思フノミテ、春ノクル久ヒコトニ
年ヲカカ空ク思フガリ、武昌ヘ行カズニ

送爾難為別 街杯惜未傾 今ソモトカカリ、二隨テ共々ユカレヌニ爾ヲ送ガ

湖連張樂地 山逐泛舟行 方黄帝ノ

咸池樂洞庭 野張羅網名 處アルカソレヲミナガラ通ラズテアラフ舟ニ乘テ山

諾謂楚人重 詩傳謝眺清 季布ハ楚國ノモノユ故事ヲ出シテカレヨリ楚國ハ

滄浪吾有曲 寄入權歌聲 吾方漁布ノ歌ノ聲

陪張丞相自松滋江東泊渚宮 張說丞相ノ相伴ヲシテ松滋江ヨリ渚宮

放溜下松滋 登舟命楫師 溜放トハ溜水ノ川上ヨリナガレキチヨドニツナ

寧忘經濟日 不憚沮寒時 孟浩然

洗憤豈獨古 濯纓良在茲 イニレ陸通仙人ガ冠ヲ水ニアラフタト云フガヒ

政成人自理 機息鳥無疑 政成人自理機息鳥無疑

雲物凝孤嶼 江山辨四維 舟中ヨリミル處ノ景ヲ述テ向フノハナレ

晚來風稍緊 冬至日行遲 ハ風カイヨクキ

獵響敬馬雲 夢漁歌激楚辭 楚

渚宮何處是 川

送柴司戶充劉卿判官之嶺外 柴氏テ司戶ノ官ノモノガ嶺南ノ判官

高適

送爾行

送爾行

送爾行

送爾行

送爾行

送爾行

送爾行

送爾行

送爾行

嶺外資雄鎮朝端寵節旌

ノモトノカク嶺外ハノラス雄鎮ヲチカラシメテ

月卿臨幕府星使出詞曹

月卿臨幕府星使出詞曹

海對羊城潤山連象郡高

海對羊城潤山連象郡高

風霜驅瘴癘忠信涉波濤

風霜驅瘴癘忠信涉波濤

別恨隨流水交情

別恨隨流水交情

脫寶刀

今ソモトカ流水ニ隨テ行カルニツイテ吾カソカレノ恨モシカクテ

有才無

不適用矣莫徒勞

一人ガモテハヤスモノニ折角息災トテモノノニヌタ骨ヲ折ラズ

功ヲタテカハ

陪賓侍御泛靈雲池

賓氏ガ北方如塞ヲオサヘラレテイルトミル

白露先時降清川思不窮

七月ハジメツカタノコトニ白露モクタラマハツヂヤ辺塞

江湖仍塞上舟楫在軍中

イカサニ南方ノ江湖ハ舟楫ニ

舞換臨津樹歌饒向颯風

妓女ノラドリコヲノセテ舞モ

積水邊色滿秋空

夕日カゲガ川ノ面ニヨコスチカイニ水ニツラ

乘興宜投轄邊

歡莫避驄

カトウニムツラレイ興ニ乘レテ泰タコトニイツマデモイルガヨイ平生ハ御史ノコトニ

誰憐持弱羽猶欲伴鷓鴣

吾カコノスメヤウナ羽カイテ大鳥トアソハウト思フテ

行次昭陵

唐ノ太宗ノ陵ノアル処ニ手カカリ太宗ノ功ヲ

舊俗疲庸主群雄問獸夫

隋ノ末ノコトヲ云ヒ出シテ隋ノ末ノ舊俗ハ庸凡

龍鳳質威定虎狼都

太宗ノ四歳ノトキニトキ者ガニテ龍鳳ノスカカアルニヨツテ

天屬尊堯典神功

天屬尊堯典神功

協禹謨

堯ノ舜ニツグ、タヤウニ位ハ自然ニ太宗ノ手ニ入テキタソノ世界ノ神妙ニ
治メラレタヌ功トイフモノハ夏ノ禹王ニモオトラヌ人デアアル 風雲隨絶足日

月繼高衢 殊ニ臣下トモ、ミナ思ヒ合フタコトニ絶足ノ馬ノ足ノ早イナド、云ヤウニ何ノ
苦モナクチツトノニ天下ヲトラレタソレヨリレテ日月ノ如ク天子ノ御位ヲ

數代御ツ 文物多師古朝廷半老儒 文物ナニヤカヤモ、ミナ古ヲ師トシ古ノ如ク
ギナサレタ 庭ニモ、学文ノ功者ナ儒者 直詞寧戮辱賢路不崎嶇

庭ニモ、学文ノ功者ナ儒者 直詞寧戮辱賢路不崎嶇 崎嶇 キツク諫ナドヲ云フ
ドモ、大勢アツマリテ

ルモノデアアル能ク諫言ヲキ、入ル人テ諫ヲモフモノニ戮辱ヲクワヘルト云フイモナク、賢者ラ
ミチノサカレイヤウニナクツ、ト立身サセテヤル以下訓解ノ註非ナリ起句ハ立カヘリテ太宗ノ

ノ功ヲホ 往者災猶降蒼生喘未蘇 往者トハ隋ノ末ノイラ云フ、隋ノ末ニ天ヨ
メルナリ

ニナツテイ 指揮安率土盪滌撫洪鑪 太宗カサレテ子イテ率土安寧ニ治メラレ
ル処ヲ

ス、イタヤウニセラレタ、洪鑪 壯士悲陵邑幽人拜鼎湖玉衣晨自舉鐵馬汗
鑪ハ天地造化ノコト

常趨 サルホドニ今トノウチ氣象ナ男ガ陵ニキテモ太宗ノ功ニ感ジテカチニナリカヌモノ
ハナイノ幽人ハ手前ヲサス吾レコノ処ニ來テ太宗ノ陵感ジテイレハ御廟ノ中ニ太宗ノ

御衣ヲ入タ唐ラ櫃ガアルガトキハ御衣ガヒトリ出テ箱ノ上ニテアルト云フ大功ヲ立タ人ノ魂ハ死テ
モ消ヘヌトイフガ誠ニソウモアルソウナ鉄馬ニ乗テトキハカケマワラル、ソウテ汗ヲナカ
イルト

松柏瞻虛殿塵沙立眼途 此ノ方ノ目ニハ松ノ中ニ虚殿、建テアル
云フガ

境界ユ、太宗ノ魂ノサウイテ 寂寥開國日流恨滿山隅 冬寂タトモノサヒレテ
アルカルモ見ヘヌデアアル

ブニノヤウトハナイユヘサカニナラフ思ヒ出テミレハヒキリニモノカナ
レウツテキテソコラノ中ノ隅々ニテ滿チワタル流ハツキヌ意ナリ

重經昭陵

草昧英雄起謳歌曆數歸 草昧ハ天地ヒラケザラサレテ云フニヨツテ隋ノ末ノ
乱レ立タ世ノ中ヲ云フニナルコノ乱レタツタ世ノ中ニ英雄

太宗ノ起ラレタ天ノ曆數ノ歸スルト云フコトハ先達テ謳歌アラワレタ隋ノ煬帝ノ
生キテイラル、ウチニ楊枯李盛天ノ曆數有爾身云フハヤリウタガ出タ 風塵三尺

劍社穢一戎衣 漢ノ高祖ノ如ク三尺ノ劍ヲフリ攜テ 翼亮貞文德丕承
タツタ一度軍ノ天下ヲ治ラレタ武手ノ如デアアル

戢武威 翼亮ノ二字テ太宗親子ノ子ナルコト唐ノ高祖ニ天下ヲトラセテ太宗ガ翼亮ニ手
セラレテヨリ、弥々アラキナ武威ヲ袋ニ入レ 聖圖天廣大宗祀日光輝

フサメテ文ヲ以テ礼ヲ以テラサメラレタ 陵寢盤空曲熊羆守翠微 陵ノ寢廟
天ノ如ク廣大ニシテ宗祀モ日ノ如クニ 陵寢盤空曲熊羆守翠微

カ、ヤイテ子孫繁昌ニアリ 再窺松柏路還見五雲飛 陵ノ寢廟
続テアル外ノカマヘノ方ニ武士居ガ 再窺松柏路還見五雲飛

キツト番ヲレテイル 高イラ、ソソ見レバナカハシラズ五雲ヲ乗ジテ通ル
ヤウニ見ルカマダ 神異カキエウセヌソウデアアル

高イラ、ソソ見レバナカハシラズ五雲ヲ乗ジテ通ル
ヤウニ見ルカマダ 神異カキエウセヌソウデアアル

王閔州延奉酬十一舅惜別之作閔州奉行ノ座キナリ舅ハ母方ヲキニ姓ヲカヌテアル

萬壑樹聲滿千崖秋氣高浮舟出郡郭別酒寄江濤浮舟ト

アルニ谷川ヲ乘リ出ス景色ヲ云フ。秋ノコトニ谷川ノ口ニアル樹ニ爪ノ鳴ル音ガミチワタリ舟ノ中ヨリ千崖ノイハホノ方ヲ仰イテミル秋色ガソラサムフスミノホツテ高クソレヨリ舟ヲ圍ハツル

方マデ乘リ出ノ直ニ江濤ノ波ノ上ヲ酒モリ良會不復久此生何太勞窮愁

但右骨群盜尚如毛カウナ出會ト云フモ明日デハツガヌ今ノマニワカレニシマハ子バナラヌドフシタフデオレハヨクヤウチテキキラスルツソ至極

ヲキワメテソノ身モ骨バカリニナツタヤウニアリ乱ノミキクナレバ吾舅惜分手使君

寒贈袍ソレニ吾ガ舅モワカレヲオシテ杜氏ガ身ニカカルコトニシテシガラ秋ノコトニ

頭暮黃鶴失侶亦哀號岸バタ通りヲミル鶴ガ一羽友鳥ヲ失テカナシモノウニ鳴クガワレモソモトモトワカルガアノ通りチヤ

春歸蜀ノ草堂へ三年ノテ帰ル

苔徑臨江竹茅簷覆地花草堂ノマハリニ竹カ植テアリ江ノ方ヘコミチカツイテ

別來頻甲子歸到忽春華頻甲子ハ左傳ノ字ヲ用テ頻年ノ意ナリニキリニ

倚杖看孤石傾壺就淺沙川ガ夕通りヲ杖ニスカツテ此石モカワラ

遠鷗浮水靜輕燕受風斜遠方向フノ水ノ面ヲミル

世路雖多梗吾生亦有涯此身醒遠方向フノ水ノ面ヲミル

復醉乘興即爲家吾身ノコトヲ云ヒ出シテ故郷ヘカヘルコトヲ立身スルコトヲ

江陵望幸モト代宗ノ吐蕃ニイテラレルライヤ思召テハ江陵都ヲウツソウトイウタ

雄都尤壯麗望幸歛威神上元年中江陵ヲ南都ト稱シテオサテテ江陵ハ尤

地利西通蜀天文北照秦イカサマコノ外ハ自由ニシ

風煙含越鳥舟楫控吳人風景ハ越方ヘニフクニ

未枉周王駕終期漢武巡イテ周王天ニノ如クラズ

自由ナトコロデアアル行幸ナサレヌウチニ江陵

唐詩選國字解 卷四

民トモカ巡狩ナサルトイフヲ期シテテニノ 甲兵分聖旨居守付宗臣

待テイル周ノ穆王漢ノ武帝ノ故事ナリ 早發雲臺仗恩波起涸鱗

都ノ御留守居ノギハノ大臣ニ御アツケナサレ 御幸ヲ待ツナリ雲臺仗ト光武ノ二十八年格クイデコトハ天子ノ御トモ廻リノ一ニナルノ涸鱗

莊子ノ守 御幸ヲ待ツナリ雲臺仗ト光武ノ二十八年格クイデコトハ天子ノ御トモ廻リノ一ニナルノ涸鱗

奉觀嚴鄭公廳事岷山池江圖 廳事ト云フニ書院サキノサウエモ

池水臨中座岷山赴北堂白波吹粉壁青嶂捕雕梁 一旬々々三區

流ノヤウスガ壁ニ畫テアルニヨツテ中坐ニソムト云フ 岷山北堂ノ方ニ画付テアルニ云フ 池水ノ白波ノトウスフクマドツテアルガ白壁ニ吹カケタヤウニ見ユル岷山ノ方ニ画付テアルニ云フ 粉壁青嶂捕雕梁

直訝杉松冷兼疑葦荻行香雪雲虛點縹沙

艸得微茫 杉松ノヤウスヲヨク 葦荻トツタニ冷トスルヤウニアルニ合点ノ方又ト思フホ

嶺雁隨毫末川霓飲練光霏紅洲蕊亂拂黛黑石蘿長 嶺雁ニ雁

花ノミノヤウスヲ川ニ通リニ赤フカイテアルニ乱ト云フ 暗谷非關雨丹楓不爲

霜秋城玄圃外景物洞庭傷 谷アイナドガクラフ見ヘルガ雨ノ降テ暗イデハナ

功殊絕幽襟興激昂 愛スルトコロ幽襟ノ興カ出テクルノ激昂ハ画ヲミテイルウチニ

從來謝太傅丘壑道難忘 結句嚴武ノアイサツニモトヨリ晋

冬日洛城北謁玄元皇帝廟廟有吳道士畫五聖圖 唐ノ世宗老

配極玄都闕憑高禁籞長 配シテコノ老子ヲバ天ニ於テ八第ニ重イ処ノ北極

守秘嚴

中宗睿宗高宗五代ノ天子ヲ画イテヲイタヲミテツタル

配極玄都闕憑高禁籞長

守秘嚴

守秘嚴

守秘嚴

具禮掌節鎮非常

秘ト云フモノハ位牌ノヤウナモノテ守秘トイフハツラアツカル
神主ノヤウナモノデ牌前ニキツトモリランナヘテヲクノ掌節
ハ士イ大將ノ一ツテ大勢ノ武士ヲツレテ非常ノモノ、
入リユニスヤウニ急度番ヲシテイル 碧尾初寒外金莖一氣旁

ナドモ青々トシ初寒外ト云フハ冬至ノ一ユヘサツトミユルコトナル金莖ト云ガ
ツト高フ人間ノ氣ノ一ツラ又天ノ元氣ノカタワラマデモトイテアルヤウニ見ヘル 山河扶繡

戸日月近雕梁 繡ト云フハ廟ノホリモノヲシタ戸ビラテ廟ノマワリニ山河カトリマワノ
アルユヘ天ノ日月モ雕梁ニホド 仙李盤根大倚蘭奕葉光

庭ニ李樹カクヘテアル 進フ隔ラヌヤウニ見ユル 仙李盤根大倚蘭奕葉光
大ニシテ孔子ノ德モスホリニカニテナルノ蘭ナドノウエテアルガ見フニ枝葉ガサカヘテアリ

後漢ノ宣帝ハ倚蘭殿ニ生シタユヘ出シタ枝葉ノサカヘルト云モノハ子孫ノ繁昌ニナルコト 世
家遺舊史道德付今王 漢ノ大史公司馬遷ガ史記ニ孔子ナドヲ世家テモ

老子ノ道德経ト云フモノガ冬ナラヌモノユヘ今王玄宗ナドハ時代ニツテ徳カサカニ 畫手
アラワレテキタノ玄宗ノ老子ニ註ヲヒラシタ以下道士ガ繪ヲホメル

看先輩吳生遠擅場 吾ガ先輩ニシテトシタ画カキドモガ 次山アルガ吳道士ガ画
テ画カキノ中テモ道士ニツク 林羅移地軸妙絶動宮墻 天地ノアイタニアル

五聖聯龍袞千官列雁行冕旒 五聖ト云フハ孔子ノ御衣ヲメシテ列ヲツラ子テ
ヲウツレテ持テイタヤウニシヘテ神妙ニシカイタ

俱秀發旌旆畫飛揚 五代ノ天子タチカ袞龍ノ御衣ヲメシテ列ヲツラ子テ
冕旒ノ玉ノ冠ヲメシテ御座ナリレルガイヅレモ發明ニシヘテ旗ナドモヒラクトス

景紅梨迥得霜 柏樹ナドガ茂テ日ノカケヲトメテオグラフ 風箏吹玉柱
飛揚スルヤウニミルコト画ノコト云テ是ヨリニ元処ノ冬ノ景ヲ云フ 翠柏深留

露井凍銀床 廟ノマワリニ風鐸ナドガサガツテアルガ柱ニツキアタツテアリ 身退
○屋根ノナリ井戸ガ冬ノ一ニ井桁マテ氷リアガツテアル

車周室經傳拱漢皇 老子ノ周室ノ世ニヤシイ書物藏ノ番ヲシテイラシタガ
トコヘタソノ後ハ音モ沙汰モナクツタガ漢ノ文帝ノトキニ至テ老子経ヲモツテ無為ニ治ルト

谷神如不死養拙更何郷 老子ハ神ヲ虚ヲヤシナフテイバ死ヌモノト云
云フテ在郷ノモノマデ素讀ヲサセラシタナルホド能ク懐手ヲシテ治ルト云ヤウニソレヨリ

聖善閣送裴迪入京 聖善閣ハ道觀トミユル裴迪ガ 都ヘ行ニワカルナリ 李頎
居ラルテアラフト云フテ実ハ當時ノ仙人ガルイラスルニアテ云フナリ

雪華滿高閣苔色上勾欄 藥州空塔靜梧桐返照寒 朝夕
閣ノウヘニ雪ノコトアル庭ノ草ナドモ入ガフコトノナイユヘニサキマデ生ヘボリ道觀ノ

雪華滿高閣苔色上勾欄 藥州空塔靜梧桐返照寒 朝夕
二葉州島カトサハレノモトマデアルヤウスモノカニニ梧桐ノウエテアル方ヲミレバ夕日ガ

唐詩選國字解 卷四 九 嵩山房

サハトサレシキ
清吟可愈疾 攜手暫同歡
カヤウナモノシツカナ境地ヘイヅレモ上手
ナ詩人バカリ集テ。詩ラツクルユヘスコシ

愈頭痛ナドハ
墜葉和金磬 饑鳥鳴露盤
カレドモ永クタノレムトガナラヌ
追付ワカレ子バナラヌホノ葉ノ

チルヲトガ金磬ニ和シテキコヘ
伊流惜東別 瀾水向西看
今今伊水テソコモトニ
ワカル、ソイテソコ

モトハ瀾水ヲワタリテ。東ノ方ヲミテワカレオレシハ
舊託合香署 雲霄何
モトハ瀾水ノ古ヲコヒテフ思フテグミ者ルテアラフ

足難
會都ニカシナハソコモトハモト即官ノコエヘモナク立身セラルデアラフ
託ハヨセテアツケル意ニ便リテアルアラフト云フコトナリ

早秋與諸子登虢州西亭觀眺
岑參

亭高出鳥外 客到與雲齊
此ノ西亭ハ山ノ上ニ建テアツテ高ク飛鳥ノ上ヘ出
アル今ヲ処ニ上テミク雲ノ中ニイルヤウニアリ

樹點千家小 天圍萬嶺低
亭ヨリ見オ景 樹水ノアヒタニ千家ガヒト合ラヒトタボ
ツチリト点ヲウツタヤウニニニ四方ガタレ下リ山々カヒウ

殘虹挂陝北 急雨過關西
遠ク陝北ノ方ヲミル 初秋ノクニ虹ガキヘノ多テア
リ。關西ノアタリヲミテイルウチニ多ク小雨ガ降テ

酒盞綠青壁 瓜田傍綠溪
事ノ友青壁ノキリ岸デ。其方ヘ亭ガヨリカウツテ
アルヤウニミル。橋トキ吸筒ノイウナソノカラ酒ヲ出

微官何足道 愛客且相攜
微官ヲラフクトモ今日ソノヤウクフデハナイ。愛客ノ
カタワラニ瓜島ガ作ツテアルガミユル

有鄉園處 依依望不迷
ツ子ハ微官ヲラフクトモ今日ソノヤウクフデハナイ。愛客ノ
キ合ニ世間ハキノコウチヲスレテマフニタラス。フモロイケレ

清明宴司勳劉郎中別業
清明ハ青ノ節寒
食ノ次ノ日ナリ

田家復近 臣行樂不違親
劉氏ハ田舎スマイノヤウニシテ。モノレツカニメイラケレバ
ヒカモマタ天子ノ近臣デアル。〇應ア不違親ト云フハ郭

有道カ語ナリ。隱者スマイノヤウラ。イラルガ行樂ヲ
霽日園林好 清明烟火
シテレタレヒモノニ不違風流ナハデアル

新
三月ニソラモ暗レキツテ。園林トドモフモロイ。
以文常會友 惟德自成隣
論

池照窓陰晚 杯香
モアル通り劉氏ヲトナシテ入テ。明友ノツキ合モ文章ヲ以テシ
徳モスクレタ人ニ聚テイルモノモミナ同シモスキナハカカリヤ

藥味春
クシ方風流ニ池ノハタノ。葦草島ノキノクテ酒モリラ
欄前花覆地 竹外
スルユ。葦草ノ香イカ杯ノ中ヘウチハテクル

鳥窺人
欄前ハ花ガスキモノナク。地ヲ覆テ映テアリ。竹數ノ外ノ方ニ
鳥ガ人音ノセヌトハナキ。人音ノスル寸ハナカユヘ窺フトモフ

深居作隱淪
何ノ桃源ノウチヘ。深クカクレイ。デモスムコノヤウナ処ニ
何ヤハリ。桃源ノラモムキニフトラヌデアリ

奉使巡檢兩京路 種果樹事 昇入秦因詠歌
長安洛陽ノ一ニ本ナ
杜レタカアルニ種ナ

ト仰付テ奉行ニテツテウユルナリ。秦一イハ長安。都ニ帰テ作ル。鄭審

聖徳周天壤韶華滿帝畿九重承渙汗千里樹芳菲

処ノ聖徳天地ニ行ハルユヘ春モノトカニニリソタリ中華ニニクテ吾ガ九重ノ禁裏ニ於テ云ニ

ヨリ兩京ノ路ノ菓樹ヲウエマセイト。綿言ヲカフリ。○王ノ言如汗ト云フ意テ渙汗ト云フ。易

ノ渙ノタ緯テアルシヨリ千里ノミチハ夕通リニ。陝塞餘陰薄關河舊色微發

花サキ實ルル非テウヘタテ見タレバ。陝塞ノアタリモ餘寒カウスタツタヤウニアリ。関河アタリ

生和氣動封植衆心歸。モ並木ヲウエテミタレバ。モ一ノサビイ景色ハナクナリ。今春

ノナル陽氣ガ發動シテ諸木モ根ツクビンテ。勿論民ノタメニサトル。一ニ衆心ガ帰シ。春

露條應弱秋霜果定肥。春露ヲカフツテ。條モ弱クワカヤイテアラフ。露

行子蓋香撲使臣衣。都海道ノ一ニ登々ノ公子ガカキヌ。登ラサシテ通ルルニ色々

使臣ノ衣裳ナドハ花ノ香ガバツト。入徑迷馳道分行接禁闈。吾ガコノ並木ヲウエタテ

御成リミチテハナイカト。迷フテウエアルヨク。思フテミレバ御通りノ路ノ方ハ。何當扈仙蹤

攀折奉恩。攀折ト云フハ高イ枝ニ及ヒツク。一ニ今ウエ立タ本ニリ。攀折ト云フコソツカ

行營酬呂侍御。行營ト云クサキニワカ由來夕陣屋ナリ。呂ノ營ハ重イキツトシタ大臣ガ

不取淮南臥來趨漢將營。劉長卿ハ淮陽ノ太守ヲツテイルユハ兵糧ヲ出セノチン

クハ子バノヲメノ淮陽テノ一ノ生ハ汲黯ト關ノ故事ヲ出シ。少々氣色ガソルイト云ノテ

ワカメニ卧テイルモエラヌ。毎日々々大將ノ陣屋ニキテ御キクテ伺イ大將ノクイヲウテ出ル。受

辭瞻左鏡扶疾拜前旌。府ノ大將ノ左ノ鏡ノ立テアル下カラ。ミアゲ。氣色ガワウ

井稅鷄衣樂壺漿鶴髮迎。手負ヲトルモ呂侍御ノセツノヤキヤウカヨイユ。ツレテ着

テアルオヤチ能ガ。身當テコレラテムカヒ出ル。孟子云單食。水歸餘斷岸烽至掩孤城

以下二句淮南ノヲサノニクイコト云フ。洪水ノチユヘンノ役タヌキリ岸。晚日當千騎秋

風合五兵。レカレ仕合ナノ六人レテ。千騎ニモアタルヤウナソモトノ來ノルユ。日クレノモノサビシ

孔璋才素健早勉檄書成。殊ニソモト古ノ陳琳ニカヲヌオ智ユ。コノサツギノ

送鄭說之飲州謁薛侍郎

鄭說ハ諸生トミル薛侍郎ハ侍御ノ官デ
飲州ノ太守ニテイルンニテ送ルナリ

漂泊來千里謳歌滿百城

リテ、鄭說ハオノスレタ今ナリトキテワズラテ千里都
ヨリ来た会飲州ニカルンモトノカル、外ハ薛侍御ハ治メ方イ

全ハ百姓モ、ヨコビウタフテソラ
ウチニッハイノ評判デアアル

漢家尊太守魯國重諸生

漢家ノ天子於テ太守重
イ役ニ大切ニ思召御尊ニサ

飲州ハ魯國ノ地テ学文ノ令ル処ニモト
ヤウナ諸生ノカレタナバ重ニズルデアラフ

俗變人難理江傳水至清

俗變人難理ハ飲州ハモト
孔子ノ言フ

夕処ニ思俗モヨカツタカ、今ハイコフ治メニクイ、コノゴキケハ薛侍御ノ
清潔ニ治ラセト云。水至清ト云フ語カアルニ清潔ニ治タコトニナリ

船經危石住路入亂山

行ハ船路モ、川中ハ石ガヨキト出ハツテ、舟モキツカヘ山トイハ
イクツモクニテユク、今ハイコフナギデアラフ

老得滄洲趣春傷白

首情

滄洲世ヲ分レタ、隱者ノ趣ヲエテ、今ハソモトニ処ニキタラ思ハ
白首ニテツイルエ、コノモナラヌタ、クエ、イタ、テイルバカリナリ

嘗聞馬南郡

門下有康成

リリノカラ薛侍御ノ門下ニイラル、摸樣ヲミル古ハ漢ノ馬融ガ弟子ニ
鄭玄ガアリシ如ク、主從トモニスグレタ、オデアアルトイフカ、アイサツチヤ鄭氏

ニ鄭玄ガ故事
ヲツカフ

唐詩選國字解卷之四終

U 15531

鸚鵡 二三八三

